

但長何間

右ハ水害豫防ノ爲メ今回新造仕候間何卒免稅御檢印被下度此段奉願候也
但平常ハ陸地ニ揚ケ置キ決テ他用ニ相用ヒ不申候

右

年月日

何 某 印

縣知事宛

総新造鑑札願

郡町大字何々番戸

何 某

一日本形小廻(舁)(漁)(遊)船 何 艘
但長何間 定繫場何川岸

定繫場何川岸

右頭書之舩今般新造仕候間何卒御檢査之上御鑑札御下渡被下度此段相願候也

右

年月日

何 某 印

縣知事宛

全賣(讓)渡ニ付鑑札書換願

郡町村大字何々番戸

一日本形小廻(舁)(漁)(遊)船 何 艘 賣(讓)渡主 何 某

但長何間 定繫場何川岸 全 買(讓)受主 何 某

右頭書之舩今般賣買約定濟(讓渡且讓受)候ニ付御鑑札御書換被成下度鑑札相添ハ双方連署ヲ以テ此段奉願候也

右

年月日

何 某 印
何 某 印

縣知事宛

水災豫備船解船届

郡町村大字何々番戸

一水災豫備船 何 艘 何 某

但長何間

舩車ニ關スル件

百七十九

右頭書之船破損相成候間解船仕度依テ免稅御檢印相添此段及御届候也

右

年月日

何某印

縣知事宛

小廻(解)(漁)(遊)船解船届

郡町村大字何々番戸

一日本形小廻(解)(漁)(遊)船 何艘

何某

但長何間

定繁場何川岸

右頭書之船破損相成候間解船仕度依テ御鑑札相添此段御届申上候也

右

年月日

何某印

縣知事宛

流失(盜難)船届

一日本形小廻(解)(漁)(遊)船 何艘

但長何間

定繁場何川岸

右頭書ノ船流失(盜難ニ罹リ)候間此段御届申上候也

郡町村大字何々番戸

年月日

何某印

縣知事宛

第十二類

警察ニ關スル件

○岐阜縣違警罪

●二十年九月岐阜縣令第百二號
岐阜縣違警罪左ノ通改定ス

岐阜縣違警罪

第一條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

- 一 禁厭祈禱ヲ以テ醫療ヲ妨ケ藥劑ヲ差止タル者
 - 二 飲食物ヲ贗造シ若クハ有害ノ物質ヲ混和シテ販賣シタル者
 - 三 病斃死ノ禽獸肉ヲ食用ノ爲ニ販賣若クハ贈與シタル者
 - 四 有毒品又ハ激烈氣物ヲ用ヒテ魚鳥ヲ捕ヘタル者
 - 五 他人若ハ組合持ノ用水ヲ恣ニ我田ニ引入レ又ハ用惡水路ニ妨害ヲ爲シタル者
- 第二條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス
- 一 強テ合力ヲ乞ヒ又ハ物品ヲ押賣シ若クハ押賣セソトスル者
 - 二 夜間十二時ヲ過キ歌舞音曲ヲ爲シテ制止ヲ肯セサル者

- 三 神佛祭事ニ托シ強テ出費ヲ促シ若クハ他人ニ妨害ヲナシタル者
- 四 濫ニ水路ニ堰埭ヲ設ケ石礫ヲ積ミ又ハ杭ヲ打テ簀ヲ立テ流心ヲ變換シ若クハ水行ヲ妨ケタル者
- 五 他人ノ漁獵場ニ妨害ヲナシタル者

第三條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五拾錢以下ノ科料ニ處ス

- 一 禁制ノ榜示ニ違背シタル者
- 二 正當ノ事由ナクシテ官署ノ呼出ニ應セサル者
- 三 族籍氏名年齢身分職業ヲ詐稱シテ投宿シ又ハ乘船シタル者
- 四 瓦礫塵芥等ヲ一定ノ場所外ニ投棄シタル者

○縣令第三十九號

二十一年四月二十五日

明治二十年(七月)本縣令第六十號街路取締規則左ノ通改定ス

街路取締規則

第一章 通則

第一條 凡街路ト稱スルハ市街地及準市街地ノ道敷及道敷ニ沿フタル下水橋梁ヲ云フ

警察ニ關スル件

第二條 本則ハ別ニ縣令ヲ以テ指定スル市街地準市街地ノ道路ニ適用ス

第三條 本則ニ於テ自費ヲ以テ爲スヘキ義務ヲ怠リ官署ノ督促ヲ受クルモ肯セザルトキハ官ニ於テ執行シ其費用ヲ徴收ス

第二章 街路ノ安寧及保存

第四條 道敷ニ建物軒擔旗柱招牌物干等ヲ設ケ或ハ出スヘカラス

第五條 左ノ諸件ニ係ルモノハ其制限ニ從ヒ道敷ニ出スヲ得

一 釣看板ハ地盤ヲ距ル一丈以上ニ限リ二尺以内

二 軒擔ハ地盤ヲ距ル九尺以上ハ二尺以内六尺以上ハ一尺五寸以内

三 日除ハ地盤ヲ距ル七尺以上ニ限リ三尺以内一丈以上ナレハ全道ニ張通スヲ得
但綿布其他ノモノコシテ不潔不体裁ナラサルモノニ限ル

四 掲燈ハ地盤ヲ距ル六尺以上ニ限リ及出窓ハ一尺以内

第六條 左ノ諸件ニ係ル者ハ其場ノ圖面ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ縣廳ニ願

出允許ヲ請フヘシ

一 街路ニ床店發賣張又ハ街燈ノ類ヲ建設セントスルモノ

二 道敷ニ柵欄支柱及華表碑表等ヲ建設シ又ハ齒止石ヲ置ントスルモノ

三 道敷ニ指道標火見其他ノ用ニ供スル標識ヲ建設セントスルモノ

四 道敷ニ樹木ヲ植ヘ又ハ井ヲ穿チ又ハ之ヲ廢除シ或ハ變更修理セントスルモノ

第七條 左ノ諸件ニ係ルモノハ所轄警察署又ハ分署ニ願出允許ヲ請フヘシ但圖面ヲ要スル場合ハ差出サシムルコトアルヘシ

一 工事ノ爲メニ一時道敷ニ竹木土石類ヲ置キ若シハ板圍繩張足代等ヲ設ケ其他道敷ヲ使用セントスルモノ

二 街路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ街路ノ一半ヲ壅塞スヘキ長大ノ物件ヲ運搬セントスルモノ

三 祭典興行等ノ爲メ道敷又ハ路傍ニ幟建札釣燈提等ヲ設ケンスルモノ

四 工事ノ爲メ一時街路ノ通行ヲ停止セントスルモノ

五 車馬通行停止ノ榜示アル場所ニ車馬ヲ出入セントスルモノ

六 一時道敷ニ舞臺小屋掛又ハ店飾等ヲ設ケントスルモノ

七 祭禮開帳等ノ爲メ神輿山車飾物其他奉納物等ヲ街路ニ出シ又ハ運搬セントスルモノ

八 道敷ニ消防具其他公衆ノ用ニ供スル諸器具ヲ置カントスルモノ

九 街路ニ沿テ家屋又ハ便所ヲ新築シ又ハ建換ントスルモノ

第八條 第六條第七條ニヨリ允許ヲ與ヘタル後ト雖モ取締上必要ナリト認ムル場合ニ於テハ之ヲ變更セシメ若クハ取消ス可アルヘシ

第九條 道敷ノ建設物又ハ溝渠下水ノ橋蓋ヲ允許ナクシテ撤去スヘカラス

第十條 允許ヲ得テ道敷ヲ使用シ之ヲ毀損シタルモノハ直ニ其地盤ヲ原形ニ復スヘシ

第十一條 街路ニ出タル軒檐ニハ軒繩及堅繩ヲ設クヘシ但檐滴ノ下ニ落ツルモノハ此限ニアラス

第十二條 允許ヲ受ケテ路上ニ置キタル竹木土石類及通行スヘキ場所ニアル危險ノ溝渠其他凹所ハ標識又ハ蓋圍ヲ設クヘシ

第十三條 街頭ニ沿フタル場所ニ竹木ヲ立置クトキハ鐵鎖其他強韌ナル繩索ヲ以テ之ヲ纏束シ又ハ薪炭其他ノ物品ヲ堆積スル者ハ堅牢ナル裝置ヲナスヘシ

第十四條 街路ニ沿フタル建設物及樹木等崩壞顛仆ノ虞アル者ハ速ニ修理撤却若クハ扶植伐採スヘシ

第十五條 道敷ニ商品薪炭荷車其他ノ物件ヲ排列シ又ハ突出スヘカラス

第十六條 路上ニ於テ荷物木挽其他ノ作業ヲナスヘカラス

第十七條 街路ニ於テ煙火其他火器ヲ弄シ又ハ焚火ヲナスヘカラス

第十八條 街路ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘍シ又ハ驚逸セシメ若クハ殘虐ニ扱フヘカラス

第十九條 街路ニ於テ濫リニ放歌高聲ヲ發シ若クハ喧噪シ又ハ偃臥スヘカラス

第二十條 允許ヲ得テ運搬スル建物其他長大ノ物件ヲ夜中街路ニ停置クトキハ路傍ニ片寄セ標燈ヲ掲シヘシ

第二十一條 路上ニ於テ紙鳶ヲ揚ケ又ハ獨樂羽根手球其他ノ遊戲ヲナシ通行ノ妨害ヲナスヘカラス

第二十二條 道路橋梁溝渠下水ヲ毀損壅塞シ街路ノ樹木ヲ伐採シ又ハ便所街燈等ヲ破毀消滅スヘカラス

第二十三條 標示シタル制札指道標ノ類ヲ毀棄汚損スヘカラス

第二十四條 允許ノ場所外ニ於テ露店屋臺店等ヲ開設スヘカラス但神佛祭典ノ場合ニ限リ特ニ指定シタル區域内ニ出店スルヲ得

第二十五條 街路ニ設ケアル井ニシテ危險若クハ通行ノ妨害トナルヘキモノハ地並ニ堅牢ナル蓋ヲ以テ之ヲ蔽フヘシ但飲料ニ供スルモノハ堅牢ナル井戸側ヲ設クヘシ

第二十六條 街路ニ於テ軍談輕業其他入寄ノ業ヲ爲シ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第二十七條 公衆ノ目ニ觸レ易キ場所ニ於テ腹背及臀部服部ヲ露ハシ若クハ身体ヲ見透スヘキ網類ノ衣服ヲ着スヘカラス

第三章 街路ノ清潔

第二十八條 街路ノ掃除並ニ洒水ハ左ノ區別ニ從ヒ各其負擔スヘシ

- 一 兩側居住人ニ於テ各其地先ノ一半ヲ負擔スルコト
- 二 居住人片側ノミニアル時ハ其地先ノ一半ハ居住人一半ハ地主若クハ借地人ニ於テ負擔スルコト
- 三 官署及官署用地ノ地先ハ該官署ニ於テ負擔スルコト第一第二項ニ同シ
- 四 橋上及負擔者ナキ地ノ掃除ハ其町村ニ於テ負擔スルコト

第二十九條 街路ハ常ニ清潔ニ掃除スヘシ塵芥雜草等ヲ存スヘカラス

第三十條 下水ハ毎年度度(三月四月ノ間十一月十二月ノ間)浚渫スヘシ若シ塵芥等疏通ヲ壅塞スルトキハ臨時浚渫スヘシ

第三十一條 浚ヒ揚ケタル淤泥塵芥等ヲ路上ニ布キ又ハ路傍ニ積置ヘカラス

第三十二條 街路ノ積雪ハ通行人ノ妨害トナラサル様可成速ニ掃除スヘシ但地方ニ據リ掃除シ難キ大雪ト認メタルトキハ踏固メ置クモ妨ケナシ

第三十三條 掃除シタル雪ハ河溝下水等水流ノ妨害ナキ場所ニ投棄スヘシ但其場所

ナキトキハ通行ノ妨害トナラサル場所ニ限リ一時宅前路傍ニ片寄セ積置クコトヲ得

第三十四條 炎天及風日ハ時々街路ニ淨水ヲ洒クヘシ

第三十五條 下水其他ノ汚水ヲ路上ニ洒クヘカラス

第三十六條 街路及公衆ノ目ニ觸ル、場所ニ於テ大小便ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

第三十七條 街路又ハ街路ニ沿フタル場所ニ於テ敷物疊其他ノ塵埃ヲ掃ヒ若クハ穀類ノ粉末等ヲ飛散セシムヘカラス

第三十八條 街路ニ臨ミタル屋根物干窓手摺等ニ汚穢又ハ危險ノ物品ヲ置クヘカラス

第三十九條 大小便又ハ惡臭ヲ發スル不潔物ヲ運搬スルトキハ墮落漏出セサル器物ヲ用ヒ且ツ蓋ヲ爲スヘシ

第四章 街路ノ通行

第四十條 牛馬及諸車ハ夜中燈火無シテ疾驅スヘカラス

第四十一條 牛馬諸車ヲ並ヘ轆キ又ハ濫リニ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第四十二條 牛馬諸車ハ街路ノ中央ヲ通行スヘシ

第四十三條 車馬及歩行者行進フ時ハ互ニ左ニ避クヘシ但軍隊並砲車輜重車ニ對シ

テハ右ニ避クヘシ

第四十四條 實車ニ對シテハ空車之ヲ避ケ坂路ハ上リ車又ハ空車ニ於テ避讓スヘシ

第四十五條 往來雜踏又ハ狹隘ノ場所及街角橋上ヲ通行スル馬車ハ徐行ヌヘシ

第四十六條 車馬街角ヲ通行スルトキハ右ハ大廻リヲ爲シ左ハ小廻リヲ爲スヘシ

第四十七條 前車徐行シ後車疾行セントスルトキハ後車ヨリ掛聲ヲナシ前車ハ左ニ避ケ後車ハ右ヲ通過スヘシ

第四十八條 郵便用消防用等ニ供スル車馬又ハ葬送等ニ行逢フトキハ避讓スヘシ

第四十九條 牛馬諸車其他ノ物件ヲ道路ニ横ヘ通行ノ防害ヲ爲スヘカラス

第五十條 制止ヲ肯セスシテ出火場其他雜踏ノ場所ニ牛馬諸車ヲ率入ヘカラス

第五十一條 街角橋上其他往來ノ妨害トナルヘキ場所ニ牛馬諸車ヲ駐止スヘカラス

第五十二條 路上ニ於テ看護人ナク五歳未満ノ小兒ヲ遊歩セシメ又ハ遊戯ヲ爲サシメ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第五章 罰例

第五十三條 本則第四條第六條第九條第十八條ニ違背シタル者及ヒ第十條第十三條

第十四條ニ違ヒ督促ヲ受ケテ肯セサル者ハ貳十錢以上壹圓貳十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十四條 本則第七條第二十條第二十二條第三十一條第三十五條ニ違背シタル者

第十一條第二十五條ノ但書ニ違ヒ督促ヲ受ケテ肯セサル者第十五條第十六條第二

十四條ニ違ヒ制止ヲ肯セサル者及ヒ第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第

四十六條第四十七條第四十八條ニ違ヒ衝突シタルモノハ拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス

第五十五條 本則第二十一條第三十三條第三十六條第五十二條ニ違背シタルモノ第

十九條第二十六條第二十七條第三十七條第三十八條第三十九條第五十一條ニ違ヒ制

止ヲ肯セサル者及第三十四條ニ違ヒ督促ヲ受ケテ肯セサル者ハ五錢以上五拾錢以

下ノ科料ニ處ス

第五十六條 本則第十二條第十七條第二十三條第二十五條第四十條第四十一條第四

十九條第五十條ニ違背シタル者ハ刑法第四編ニ照シテ刑ヲ科ス第十八條第十九條

第二十二條ニ違背シテ刑法ニ明文アルモノ亦同シ

○諸興行及觀物場規則

●二十年八月岐阜縣令第八十號

諸興行及觀物場取締規則左之通定ム

諸興行及觀物場取締規則

第一條 本則ニ於テ諸興行トハ歌舞妓狂言、俄狂言、角觥、軍談、講釋、落話、諸淨瑠璃、吹、各種音曲、能、謡曲、獅子舞、人形遣、寫繪、曲馬、手品、輕業、獨樂廻シ、祭文語、競馬、擊劍、馬駈、等ノ枝藝ヲ演スルモノヲ總稱ス
觀物場トハ天造人造ノ見セ物、覗目鏡等ヲ總稱ス
(二十二年縣令二十) 五號ヲ以文中挿入

第二條 前條ノ諸興行ヲ爲ントスル者ハ左ノ各項ヲ具シ藝人ノ鑑札ヲ添ヘ興行地戸長ノ興印ヲ受テ警察署又ハ分署ニ願出允許ヲ受クヘシ其願面ヲ變更セントスル時亦同

一 藝題及ヒ其所作ノ趣旨要領
但筋書ヲ檢閲スルコトアルヘシ

二 藝人ノ住所氏名及ヒ藝名

三 興行場所并月日時

四 木戸錢場代又ハ席料ノ定額

五 興行場ノ地主又家主(官有共有ナレハ其管理者)ノ承諾證印

第三條 觀物場ヲ開設セントスル者ハ左ノ各項ヲ具シ開設地戸長ノ興印ヲ受テ警察署又ハ分署ニ願出允許ヲ受クヘシ其願面ヲ變更セントスル時亦同

一 觀物ノ種類及ヒ開設場所并月日時

二 木戸錢場代又ハ見料ノ定額

三 開設地主又ハ家主(官有共有ナレハ其管理者)ノ承諾證印

第四條 金錢ヲ收入セス公衆ニ縦覽縦聽セシメントスル諸興行ハ第二條若クハ第三條(共ニ戸長ノ興印ヲ要セス)ノ手續ニ從ヒ一切金錢ヲ收メサルコトヲ明記シ興行地警察署又ハ分署ニ届出ヘシ
但木戸錢場代見料ニアラスシテ火鉢蒲團下足料等ノ名義ヲ付スルモ仍ホ第二條若クハ第三條ニ依ル

第五條 凡ソ興行主ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 興行場ハ空氣ノ流通ヲ便コシ且非常災害ノ節出入ノ便ニ供スル爲通常出入口ノ外非常口ヲ設ケ且適宜ノ防火器具ヲ備置ヘシ

二 場内見地シニ便ナル個所ニ警察官吏ノ監臨席ヲ設クヘシ
但警察官吏ハ樂屋等ニ立入ルコトアルヘシ

三 客席ハ一坪(方六尺)ニ付十四人(十二歳未満ノ者ハ二人チ一人ニ算シ三歳未満ノ者ハ員外トス)ヨリ多ク入ラシムヘカラス
但假小屋ノ二階棧敷ハ十人ニ過クヘカラス

警察ニ關スル件

- 四 興行時間ハ日出ヨリ午後十二時マテニ限ル
- 五 樽猛ノ禽獸ヲ觀物トナス時ハ其逃逸ト看客ノ危險ヲ防クニ足ルヘキ柵欄ノ類ヲ設クヘシ
- 第六條 凡ソ興行場ハ左ニ列記シタル事項ヲ禁止ス若シ之ニ違ヒ制止ヲ肯セサルトキハ其興行ヲ停止スルコトアルヘシ
 - 一 倫理ヲ轉倒シ正邪ヲ紊リ或ハ歴代ノ 皇徳ヲ瀆シ若クハ言語行爲ノ猥褻ニ涉ル事
 - 二 看客ヲノ藝人ノ化粧場樂屋等ニ入ラシメ又ハ藝入ヲノ看客ノ座席ニ入ラシムル事
 - 三 客席ヲ暗黒ニスル事
 - 四 無籠ノ燈火ヲ用フル事
 - 五 但釣火差出シハ此限ニアラス
 - 五 何等ノ名義ヲ以テスルモ看客ニ對シ濫リニ出錢ヲ促シ又ハ闊チ賣ル事
 - 六 不具ノ人体又ハ醜猥ノ行爲或ハ惡臭ヲ發スル物件ヲ觀物ト爲ス事
- 第七條 興行中便所ハ毎日掃除シ且時々防臭藥ヲ撒布スヘシ
- 第八條 興行場ニ關スル一切ノ事ハ興行主其責ニ任ス

第九條 本則第二條第三條ノ允許ヲ受ケヌ又ハ第四條ノ届出ヲ爲サスシテ興行シタルモノ及ヒ第五條第七條ニ違ヒ督促ヲ受ケテ肯セサルモノハ刑法第四百二十八條第五項ニ照シテ刑ヲ科ス

○鶏犬ヲ闘ハシムルヲ禁ス

●二十一年四月岐阜縣令第三十七號
自今鶏犬ヲ闘ハシムルヲ禁ス違フ者ハ拾錢以下壹圓以下ノ科料ニ處ス

○質屋營業願出方并書式

●十八年八月岐阜縣布達甲第七十一號(摘錄)

第一條 質屋營業ヲ爲サントスル者ハ第一號書式ニ倣ヒ願書正副二通組合頭取ノ連署戸長ノ奥印ヲ受テ所轄警察署ニ願出ルモ妨ナシ以下倣之許可ヲ受ヘシ他管下ヨリ寄留スル者亦同シ

但支店ヲ出サントスルモノハ本條ニ從ヒ別ニ許可ヲ受クヘシ

第二條 前條ノ許可ヲ受タル者ハ其許可書ヲ証トシテ通常ノ手續ニ從ヒ所轄郡役所ニ願出營業鑑札ヲ受ヘシ

警察ニ關スル件

第三條 營業鑑札ヲ受タルモノハ第二號式ノ看板ヲ製シ組合頭取ノ烙印ヲ受ケ店頭見易キ場所ニ掲クヘシ支店亦同シ

(第一號書式) 用紙半紙二通

質屋營業願

質屋(支店)何郡何町村
番地ニ於テ

何國何郡何町村何番地

氏名 年 齡

右頭書ノ營業仕度御許可奉願候也

年 號 月 日

右 氏 名 印

(右何某幼少又ハ云々ニ付營業上ノ責任ハ私ニ於テ負擔可仕候也)

(何國何郡何町村)何番地又ハ某同居)

(是ハ第六條第四項ノ責任者記名スヘキ時ノ書式ナリ) (氏 名 印)

(年 齡)

質屋何々組頭取 氏 名 印

岐阜縣何警察署長官氏名殿

右之通願出候ニ付與印候也

何郡町村長 氏 名 印

(第二號書式)

鑑札ノ番號 許可ノ月日

第何號 明治何年何月何日許可

○ 質 屋 印 烙

(支店)何郡村
町番地

曲尺堅二尺幅七寸
木品適宜

何國何郡何町村 何組ノ誰

○烙印ハ方曲尺二寸五分ニシテ(質屋何々組)ト刻ス

○古物商營業願出方并書式

●十八年八月岐阜縣布達甲第七十三號(摘錄)
第一條 古物商ヲ營業セントスルモノハ其種類ヲ明記シ第一號書式ニ倣ヒ願書正副二通組合頭取ノ連署戸長ノ與印ヲ受ケ所轄警察署ニ届出テ(便宜ニ依リ分署交番以下)許可ヲ受ヘシ
倣之

警察ニ關スル件

但他管廳免許ノ古物商本縣下ニテ營業ヲ爲サントスルモノハ更ニ本縣ノ許可ヲ受ヘシ

第二條 古物商ノ支店ヲ出サントスル者又ハ親屬雇人ヲシテ行商ヲ爲サントスル者ハ第一條ノ手續ニ從ヒ別ニ(行商ハ第二號式)許可ヲ受ヘシ

第三條 第一條第二條ノ許可ヲ受タル者ハ其許可書ヲ証トシテ通常ノ手續ニ從ヒ所轄郡役所ニ願出營業鑑札ヲ受ケ露店行商ヲ爲ス時ハ之ヲ携帯スヘシ

第四條 營業鑑札ヲ受タル者ハ第三號式ノ看板ヲ製シ組合頭取ノ烙印ヲ受ケ店頭見易キ場所ニ掲シヘシ支店又同シ

(第一號) 古物商營業願 (用紙半紙)

何國何郡何町(村)何番地

氏名 年齢

古物商(古物商支店)何郡町村番地ニ於テ

但何々(古道具カ古着カ袋物カ小間物)又ハ何々ヲ兼業スルカ等

右頭書ノ營業仕度御許可奉願候也

右

年號月日

右 氏名 印

(右何某幼少又ハ云々ニ付營業上ノ責任ハ私ニ於テ負擔可仕候也)

(何國何郡何町村何番地又ハ何某同居)

(是ハ第七條第四項ノ責任者) 氏名 印

(年 齡)

古物商何々組頭取 氏名 印

岐阜縣何警察署長官氏名殿

右ノ通願出候ニ付與印候也

何郡村戸長 氏名 印

(第二號) 古物行商願 (用紙半紙)

何國郡町村番地誰何男(子弟)當時何國郡町村番地誰方寄留(雇人)

氏名 年齢

古物行届

但何々(同上)

右之者(私雇人トシテ)(私何男ニテ)私ノ營業スル頭書ノ業ヲ行商爲致度御許可奉願候也

何國郡町村番地古物何々商

年號月日

氏名印

古物商何々組頭取(代理補助) 氏名印

岐阜縣何警察署長官氏名殿

戸長ノ與書印前ノ如シ

(第三號) 鑑札ノ番號 許可ノ月日

第何號 明治何年何月何日許可

○古物商 古着 古本 烙印 (支店 何郡村 町番地)

何國何郡何町村 何組ノ誰

○烙印ハ方曲尺二寸五分ニシテ「古物商何々組」ト刻ス

街路使用願

何郡市町村大字何々番戸

何之誰

右私儀今般別紙畧圖ニ記スル所ノ當何市町何番戸住屋表下水溝ノ兩側共破損候ニ付原形ニ基キ修理仕度依テ右工事ノ爲メ別紙畧圖ニ點線ヲ劃スルノ部分使用仕度此段奉願候也

右

年月日

何之誰印

何警察署長宛

(但別紙ニ圖面ヲ添附スヘシ)

(注記)街路ニ關スル心得方ハ數多アルニヨリ二十一年縣令三十九號ニ就テ見ルヘシ

板圍設置願

私儀今般都合ニ依リ従前之家屋取毀或ハ修繕之工事仕度候ニ付別紙圖面之如ク來ル何月何日ヨリ何月何日迄道敷何間ノ間何間通り板圍仕度此段奉願候也

何郡市町村大字何々番戸

年月日

何之誰印

警察ニ關スル件

何警察署長宛

(但別紙ニ繪圖面ヲ添附スヘシ)

家屋建設願

何郡市町村大字何々番戸

何之誰

右私儀何郡市町村大字何々番地何々ニ於テ別紙畧圖ニ示ス場所ニ木造カ(何造)ニ階カ(何階)附ニテ瓦板葺壁ハ何色ノ住家ヲ新築仕リ度候間此段奉願上候就テハ屋根端ハ少シモ道路ニ關セヌ様作り度尤雨落ノ儀ハ洋鐵又ハ何々ノ榑ヲ以テ充分締リ可仕候以上

右

年月日

何ノ誰印

(右建築地處借地ナレハ(右地處ハ何之誰ニ借受候ニ付併セテ記載候事)ト文尾ニ記入スヘシ)

何々警察署長宛

(但別紙ニ繪圖面ヲ添附スヘシ)

車馬通行禁止願

今般何々道路又ハ橋梁修繕仕度候ニ付地固メ仕度候間本日ヨリ何日間車馬通行禁止御許可之上該札何枚御貸下被下度此段奉願候也

何郡市町村大字何々

惣代 何某印

同 何某印

何警察署長宛

旅籠屋營業願 (二十一年四月縣令四下宿屋 十一号参照スヘシ)

何郡市町村大字何々番戸 本籍或ハ寄留ノ別ヲ記スヘシ

一旅籠屋營業

下宿屋 右者今般頭書之營業仕度候間宜敷御聞届之上御認許被成下度此段奉願候也

右

年月日

何之誰印

何警察署長宛

(但別紙ニ繪圖面ヲ添附スヘシ)

警察ニ關スル件

前書之通願出候ニ付與印候也

何市町村長 何 之 誰 印

烟火打揚願(十五年甲八十三號)
(烟火取締規則參照)

何々通又ハ何々地何郡町村地内何々ニ於テ來ル何月何日雨天日送リテ以テ何々(祭日祝日等其事故明記スヘシ)執行候ニ付烟火打揚仕度尤打揚場所ノ儀ハ例年御願濟之場所ニ有之候間右願意御聞濟被下度別紙繪圖面相添此段奉願候也
尙筒數玉數ノ義ハ取調ノ上上申可仕候也

年 月 日

何郡何市町村大字何々番戶

烟火製造人 何 之 誰 印

同

願 主 何 之 誰 印

全村惣代 何 之 誰 印

何警察署長宛

右市町村長 何 某 印

前書之通願出候ニ付與印候也

(右地所堤防ニ關スルトキハ左ノ與書ヲ要ス)

前書願出ノ個處實地檢査候處差支無之候間此段副申候也

堤防委員 何 之 誰 印

湯屋營業願

本籍何郡市町村何々番戶

當時何々寄留

何 之 誰

年月日生

一湯屋營業
私儀右家屋借受テ候ニ付本縣令第五十八號ニ基キ頭書ノ營業仕度依之湯場建設地及構造法方書並圖面相添此段奉願候也

右

何 之 某 印

何警察署長宛

前書之通願出候ニ付與印候也

何市町村長 何 之 某 印

警察ニ關スル件

湯屋開設地及構造方法書

- 一湯屋開設ノ場所ハ何郡市町村大字何々番戸ニ有之候
- 一湯坪ハ男女トモ長七尺貳寸巾四尺八寸ニ有之候
- 一火焚場ハ漆喰塗ト爲シ男女トモ竈ノ中央ニ指口六寸ノ厚燒ノ瓶ヲ以テ一箇ノ煙筒ヲ屋上ニ突出スルコト三尺餘ニシテ其煙筒ノ瓶繼キ合セハ漆喰塗ト爲シ有之候但右屋上ニ突出スル煙筒ノ周圍ハ二間以内悉ク不燃質物ノ瓦ヲ以テ覆蓋罷在候
- 一焚物ハ自宅軒下ヨリ外ニ積置キ最モ距離火焚場ヨリ八間ヲ距リ申候
- 但小出ノ場ハ火焚場ヨリ二間餘ヲ隔テ遮壁ヲ設置キ候
- 一火消所及灰置所ハ火焚場ノ傍ヲナル庭ノ所ニテ別紙圖面ニ示シタル所ニ設置候尤モ其周圍迄燃質物等ハ決ノ置キ不申候
- 一浴場ハ男女共分界ヲ爲シ少シモ見透カサル様板塀ヲ設ケ一切男女混交セサル様注意可仕候
- 一浴場及浴客席ハ外ヨリ一切裸體ノ見ヘサル様ニ暖簾ヲ掛ケ可申候
- 一入浴料ハ見易キ所ニ男湯女湯共掲示可仕候
- 一浴客ノ衣類携帶品ハ紛失セサル様男女共客席ニ戸柵ヲ置キ鑰ヲ以テ鎖シ可申候様可致置候

右ハ外御規則ノ趣意相守大切ニ營業可仕候以上

(外ニ圖面ヲ添附スヘシ)

盜 難 屈

昨何日午後何時裏表ノ戸締相付一同打臥シ(或他出致)第何時頃眼覺(或ハ歸宅致)家内見廻候處何處ヲ切破(或ハ兩戸ヲ押外シ)盜賊忍入(容貌衣類ヲ認ルトキハ其由此處ニ記載スヘシ)簞笥ノ錠前ヲ引放テ別紙ノ金錢衣類盜ニ取候間此段御届申上候也

年 月 日

郡町村番戸

何 某 印

何警察(分署)署長宛

被盜品目録

- 一金何百何拾圓
- 内 何圓金貨何圓何錢銀貨何圓
- 何錢紙幣何圓銅貨何程
- 一男綿入何織何稿裏何品 何 枚
- 一女綿入何織何稿裏何品 何 枚
- 此代金何圓
- 何拾何圓

警察ニ關スル件

遺留品目録 盜賊ノ取遺
シタル品

- 一 衣類
- 一 煙草入
- 一 幾品
- 何 枚
- 一 箇

賊難 届

一同上 (此處へ被盜品ノ種類ヲ掲クヘシ)

右ハ本幾日家へ置家族一統何所エ罷出翌何日前(后)何時頃歸宅仕候處裏口ノ戸明放シ衣類器具散亂致有之不審ニ存取調候處前記之通無之ニ付處々取調候得共相見エ不申全盜賊之處爲ト奉存候依テ此段御届申上候也

年月日

何警察(分署)署長宛

郡町村番戶 士族
平民

何 某 印

一同上 (此處へ被盜品ノ種類ヲ掲クヘシ)

強盜 届

右ハ昨日夜前(后)何時頃表ノ戸口切放シ強盜三人拔刀ニテ押入家族一統ヲ束縛シ誰ヲ以土藏ニ案内爲致前記之金品奪取誰エ負傷爲致何時頃遁去候最狼狽仕居候ニ付詳細ハ心付不申候得共顔ハ頭巾ニテ包大半年齡何十位ノ男何々衣類ノ摸言葉ハ何ト奉存候依テ被害者醫師診斷書若負傷死人アル相添此段御届申上候也國ナマリト奉存候依テ被害者醫師診斷書若負傷死人アル相添此段御届申上候也

年月日

何警察(分署)署長宛

郡町村番戶 平民
何 某 印

拾得物(品)届

- 一 何品
- 一 何品
- 何 箇

右ハ私儀本日午前(后)第六時何郡何町村何番地前ニテ右之品拾ヒ取候間品物相添此段御届申上候也

年月日

何警察(分署)署長宛

何郡何町村何番戶

何 某 印

遺失物品届

一何々品類明記スヘシ

一舊幕府何兩判ノ異草字ノ區別

一何圓金銀貨

一何圓紙幣或ハ何圓銀行紙幣何枚

合何点

内 品類 幾品

右ハ私儀本月幾日何郡何町村何所へ罷越(何所ヨリ歸途仕)前(后)何時頃何所ヨリ何

所迄ノ間ニ於テ遺失仕候間此段御届申上候也

年月日

何警察(分署)署長宛

何國郡町村番戶

士族
平民
何 某 印

○流失品届書式

暴風雨洪水等ノ爲メ船及ヒ諸物品流失スル節ハ速ニ左ノ書式ニ準シ届書ニ通テ所屬
村長又ハ浦役人へ差出スヘシ

何品流失御届

鑑札番號或ハ烙印

一船長サ何間何尺幅何間何尺

但シ何石積船號何

附屬点

一何々

一材木長サ何間何(尺寸)角或ハ丸

但シ檜松杉櫟等木ノ品種及ヒ記號

一何品

但シ記號等アラハ詳細ニ記スヘシ

右者私所有ニテ何所ニ繫キ置或ハ積置 候處何年何月何日流失致シ候間此段御届申上候也

年月日

何村長某殿或ハ浦役人某殿

拾子届

警察ニ關スル件

昨何日午前(后)何時何前ヲ通掛候處當歲ト見受候男(女)子捨置有之候ニ付早速取上
ク養育致置候間此段御届申上候也

郡町村番戸

何 某 印

年月日

何警察署(分署)長宛

牛馬落死御届

郡町村番戸

持主 何 某

一農馬(牛)

右老衰(又ハ何病)ニヨリ本月何日頃ヨリ絶食仕居候處種々ト治療相加ヘ候得共遂ニ
其効無之本日午前(后)第何時落命仕候間此段御届申上候也

右

何 某 印

年月日

何警察(分署)署長宛

監視人逃亡届

住所身分

何 某

右之者何々裁判所ニ於テ何ヶ月間ノ監視ニ付セラレ私方ニ謹慎罷在候處本日突然家
出致シ歸宅不仕候ニ付所々方々搜索仕候得共更ニ行衛不相分候間不取敢此段御届申
上候也

何那何(町)村何番戸

何 某 印

年月日

何警察署長宛

變死人御届

郡町村番戸

何某父兄弟

何 某

何年何ヶ月

右之者時々發狂致候ニ付家内一同注意保護仕居候處昨夜熟睡ノ際竊カニ家ヲ出テ何
川ニ於テ自投溺死(又ハ何處ニ於テ縊死)致居候間不取敢此段御届申上候也

警察ニ關スル件

年月日
右父兄
何某印
何警察署長宛

蝗送御届

右ハ本月何日當村田方蝗除ノ爲メ鐘太鼓ヲ鳴シ蝗送り仕候間此段御届申上候也

右村人民總代

年月日

何某印

何警察署長宛

(町村長與印ノ上届出ノリ)

遊藝温習會御届

右ハ本月何日午后何時ヨリ全ク何時迄何處ニ於テ何連中ノ者三絃ノ稽古浚仕度尤モ席料又ハ茶油代等申受候儀ハ一切無之候間此段御届申上候也

郡町村番戶

年月日

催主 何某印
席貸 何某印

何警察署長宛

相撲届

郡町村番戶

何某

右ハ何月何日何々祭ニ付キ本村字何處ニ於テ寄合相撲執行仕候決シテ興行々間敷義ハ不仕且不取締無之様注意可仕候間此段御届申上候也

右

年月日

何某印

何警察署長宛

(町村長與書ノ上届出ノリ)

失火御届

昨何日午前第何時頃私居室二階ヨリ出火

警察ニ關スル件

居宅 桁行何間 梁行何間 壹軒
土藏 瓦葺 幾ヶ所
裏家 幾棟

隣家幾軒土藏物置幾ヶ所類焼

右昨日午前(后)第何時頃鎮火仕候出火原因ハ炭或ハ火鉢ヨリ出火仕候儀ニ相違無之不注意之段奉恐入候此段御届申上候也

年月日 郡町村番戸 士族
火元 何 之 某
何警察署長宛

類焼 御届

本月幾日午前何時頃 西南 隣何之誰何所ヨリ私

居宅 (前全上)

土藏 (全)

物置 (全)

右類焼仕候尚此段御届申上候也

年月日

何警察署長宛

郡町村番戸 士族
何 之 誰 印

差入物願

一何品
一何品

何点

右ハ私兄弟又ハ親類何々誰犯罪有之御署へ御拘留相成候ニ付前記ノ品々差入申度此段奉願候也

年月日

何監獄御中

國郡町村番屋敷族籍
何 某 印

○流入紙製造ニ關スル件

◎二十年八月大藏省令第十二號

警察ニ關スル件

文字畫紋ヲ漉入レタル紙ヲ製造スル者ハ一種毎ニ現品ニ葉ヲ添ヘ左ノ雛形ニ據リ届書ニ通テ管轄廳東京府ハニ差出スヘシ管轄廳又ハ警視廳ハ一通ヲ留メ置キ一通ヲ當省ニ遞達スルモノトス

雛形(用紙半紙)

漉入紙製造届

一何々漉入紙

右製造仕候間品相添へ此段御届仕候也

貫籍

年月日

何 某 印

廳府縣長官宛

(注記)該届書ハ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ差出スヘキ旨二十年八月岐阜縣令八十一號ヲ以テ達セラレタリ

西洋手品(講談)(獅子舞)興行願

何郡市町村大字何々番戸

何 某

一西洋手品(何々)興行

右ハ私儀今般郡町(村)番地何誰家(又ハ所持地)ニ於テ來ル何日ヨリ何日迄晴天何日

問別紙之藝人雇入西洋手品何々興行仕度尤木戸錢ハ但書之通申受候且御規則之通税金上納可仕ハ勿論決シテ不取締等之儀無之様可仕候間何卒願意御聞届被成下度此段奉願候也

右

年月日

何 某 印

家主(地主)

何 某 印

何警察署(分署)長宛

(町村長與書之上願出ノリ)

(別紙ニ鑑札寫ヲ添ユヘシ)

全願濟ニ付御届

別紙之通何町(村)番地何誰家(又ハ所持地)ニ於テ本月何日ヨリ何日迄晴天何日間西洋手品(何々)興行仕度旨出願候處何々警察署(分署)ニ於テ允許相成候間御指令寫相添此段御届申上候也

何郡町村番地

警察ニ關スル件

年月日

郡長宛

別紙ニ指令寫テ添ユヘシ

何某印

角力興行願

今般何市町村大字何々番戸何々(場所跡)ヲ借受ケ日除小家ヲ建設シ來ル何月何日ヨ
リ何月何日迄毎日午前(后)何時ヨリ何時マテ日數何日間別記ノ者ヲ雇入レ角力興行
仕度付テハ御規則ニ基キ税金ハ必ラス相納可申候間何卒願意御聞届被下度此段奉願
候也

但木戸錢大人何錢宛申受度候

場代一場ニ付敷物代共一人ニ付何錢

何日場代ハ不申受候

右之通申受度候也

何市町村大字何々番戸

年月日

何之誰印

地主何之誰印

何警察署長宛

前書之通願出候ニ付與印候也

何市町村々長 何之誰印

(左ニ稼人ノ鑑札寫ヲ添附スヘシ)

娼妓營業願

本籍何府(縣)何國何郡市町村大字何

何ノ誰方寄留又ハ同居

當時何府(縣)何國郡市町村大字何

何ノ誰方寄留又ハ同居

何のたれ 年月日

稼名 何々

右者父母何のたれ負債辦償之儀ニ付返金方法無之候ニ付娼妓相稼返辦之義務ヲ可盡
爲メ此度本縣令第七十二號ニ基キ何遊廓何町何之誰方ニ於テ娼妓營業致度依テ貸座
敷主ト契約書寫相添此段奉願候也

年月日

右本人 何のたれ印

警察ニ關スル件

本籍ノ父

何ノ誰印
(父無之ハ母又両親無之
ハ親戚ノ連署ヲ要ス)

何市町村大字何々番戸

保証人 何之誰印

右貸座敷主 何之誰印

右取締人 何之誰印

何警察署長宛

(本項願出ニ關シテハ左ノ印鑑願ヲ添ヘ差出スヘシ)

印鑑証明願

何府(縣)何國郡市町村大字何々番戸(此ハ娼妓ノ父母)

印鑑 何之誰

右印鑑御証明被成下度此段奉願候也

右

年月日

何之誰印

市町村長宛

右印鑑相違無之候也

年月日

何市町村長何之誰印

(但別紙ニ交換契約書ヲ添附スヘシ)

藝妓營業願

何市町村大字何々番戸

本籍士族平民

當時何市町村大字何々番戸何ノ誰方寄留又ハ同居

何のたれ

年月日生

藝名何々

藝妓營業

私儀頭書之營業仕度候間免許証御下附相成度親屬及身元引受人連署ヲ以テ此段奉願候也

右

年月日

本籍ノ父

何のたれ印

何ノ誰印

（父無之片ハ母又兩親無之）
片ハ親戚ノ連署ヲ要ス

身元引受人

何之誰印

何警察署長宛

前書之通願出候ニ付奥印候也

何市町村長 何之誰印

大(小)便建設願

何國何郡市町村大字何々番戸

何某

右私義今般何町村第何種官有地拜借御聽許相成候ニ付テハ前拜借地ニテ兩便所設置
致度候間御聞届被下度此段奉願候也

一右便所構造之儀ハ間口何間奥行何間板瓦葺又ハ圍之儀ハ何間何尺高サ棟ニテ何尺

道路ヨリ何尺ヲ除キ候事

右願人

年月日

何某印

何警察署長宛

(但別紙ニ繪圖ヲ添附スヘシ)

○渡船業取締規則並願書式

●二十二年岐阜縣令第五十號(摘録)

第一條 船渡業ヲサントスルモノハ第一號書式ニ據リ縣廳ニ願出許可ヲ受シヘシ
其賃錢ノ増減及ビ位置ノ變更モ亦同シ

改氏名又ハ廢業シタル片ハ其旨届出ヘシ

第二條 橋梁修繕等ノ節一時渡船業ヲ爲サントスルモノハ前條ニ準シ縣廳ヘ届出ヘ

第三條 渡船業ノ許可ヲ得タル片ハ第二號雛形ノ揭示札ヲ製シ所轄郡役所ニ申出烙

印ヲ受ケ渡船場ヘ揭示スヘシ

第一號

警察ニ關スル件

渡船業願

明治二十二年七月本縣令第五十號ヲ遵守シ渡船開業仕度候間御許可被成下度左之各項ヲ具シ此段奉願候也

年月日

郡町村番戶族籍 氏名

同 地元町惣代人氏 名

同 對岸町村 惣代人 氏名

岐阜縣知事氏名宛

前書之通願出候ニ付與印候也 年月日

町村長 氏名 印

- 一 川名及街道名 假令ハ何川何街道ト記スルノ類
- 一 常水量及川留ノ水度 假令ハ常水量ハ幅員深淺緩急等川留ノ水度ハ何合又ハ何尺以上出水ノトハ出船ヲ留ムル等ノ類
- 一 乘船人定員及積載荷物ノ制限 假令ハ何人ハ何人牛馬又ハ荷物ヲ合載スルトハ牛馬ハ何人荷物ハ何貫目ヲ一人ト同視スル等ノ類
- 一 常備船艘數并其構造 假令ハ何形ニシテ縱横何間何尺何艘何年製造等ノ類

- 一 賃錢ノ定額
- 一 舟夫ノ定員
- 一 前後渡船場ノ距離
- 一 繪圖面

假令ハ片道一人何厘、牛馬、人力車荷車、駕籠、何厘又ハ無賃ト記スル類
 假令ハ平素何人出水ノトキハ何人ト記スル類
 假令ハ上流何町村渡船場ハ何里何丁下流何町村渡船場ハ何里何丁
 渡船位置兩岸町村名字及近傍ノ景況ヲ知ルヘキ圖面

板ノ厚サ一寸板ヲ以テ製ス

何川筋

何國何郡何町村

渡船賃定

アリサンニテ所
但壹寸角ノ木
ヲ以テ製ス

何尺ヤカ

一金何厘 人 壹 人

一金何厘 馬半 壹 疋

一金何厘 人力車壹輛

壹尺三寸

荷車壹輛

駕籠壹挺

何々

右之通

年月日 何渡船場

岐阜縣烙印 壹尺壹寸

何尺何寸

巡查志願誓約書 (用紙適宜正副二通)

(十九年八月本縣令二
十三號參照スヘシ)

某儀本縣巡查奉職志願ニ付別紙履歷書相添御試験奉願候尤左ノ條項誓テ遵守可仕候也

- 第一 官吏服務規律及職務上ノ諸規則上官ノ命令ニ順從シ職權外ニ馳騫セサル事
- 第二 奉職五年未滿ニシテ辭退セス若シ疾病ニ罹レハ警察醫ノ診斷ニ據ルヘキ事
- 第三 従前ノ借財滞リハ一切無之仍ホ奉職中己ノ分限ヲ慎ミ金錢若シクハ買物代價等ヲ借リサル事

住所自分職業(寄留地)

明治 年 月 日

志願人 氏 名 印
年號月日生

岐阜縣知事宛

住所身分職業

保証人 氏 名 印

全上 保証人 氏 名 印

右之趣相違無之若シ本人誓約ニ違背シタル時ハ保証人ニ於テ其責ヲ負擔可致候也

第十三類

銃砲ニ關スル件

遊(職)獵免狀御下渡願

本籍住所族籍職業

(寄留ナレハ本籍ヲモ記スヘシ)

何縣何年御檢印濟

一 洋銃

壹挺

何

某

但玉目何匁何分

當何年何ヶ月

右所持ノ小銃ヲ以テ鳥獸(遊)(職)獵仕度就テハ御規則ノ趣堅ク相守可申候間免狀御下渡被下度此段奉願候也

右

年月日

何 某 印

郡長宛

(村長與書ノ上候届ノ以下同シ)

獵銃讓渡願

住所族職業

一銃名

何文目玉

壹挺

讓渡人

何

某

同 斷

讓受人

何

某

右ハ今般讓渡且讓受可申約定相整ヒ候間御規則之趣堅ク相守可申ニ付何卒右名前ニ御書換被下度此段連署ヲ以テ奉願候也

右

年月日

何 某 印
何 某 印

警察(分署)署長宛

獵銃賣買願

住所族職業

全

一銃名 何文目玉何挺

賣渡人

何

某

全

買受人

何

某

右ハ私所持ノ銃砲ニ候處今般何郡何町村何番戸屬族何某ニ賣渡申度候間此段奉願也

右

銃砲ニ關スル件

年月日

何某印
何某印

(買受人所轄ノ)
警察(分署)署長宛

威銃願 (二十二年縣令
三十六號參照)

住所族職業

同
一銃名 何文目玉

何某
年 齡

(銃炮借受ナレハ此所ニ住所姓名ヲ記スヘシ)

當村儀ハ山間ニ耕地有之(鳥獸)名ノ被害不勘種々威具ヲ相設ケ候得共追々事馴レ詮
ナキ次第ニ付右攘除ノ爲今回村中協議ノ上前顯ノ者相雇ヒ本月何日ヨリ來何月何日
迄銃炮ヲ以テ威發仕度尤モ獵業ニ紛敷義ハ一切不仕候間御免許被下度村民總代連署
ヲ以テ別紙繪圖面相添此段奉願候也

年月日

右
何某印

何村々民總代

何某印
何某印

何警察署長宛

但場所ノ繪圖面ヲ添附スヘシ

銃獵免狀還納届

住所族職業

何某

免狀番號

一(遊)(職)獵免狀

右ハ免狀滿期ニ付還納仕候也

年月日

郡長宛

某印

第十四類

登記法ニ關スル件

◎法律第一號

明治十九年八月十一日(公布)

登記法

第一章 總則

- 第一條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ヲ爲ス者ハ本法ニ從ヒ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定繫場ノ登記所ニ登記ヲ請フ可シ(二十年法律壹號改正ノ文)
已ニ登記ヲ受ケタル地所建物船舶ニ變更ヲ生シ又ハ亡失破壊シタルハ其物件ノ所有者ヨリ登記ノ變更又ハ取消ヲ請フ可シ
- 第二條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ノ登記ハ始審裁判所長之ヲ監督ス可シ
- 第三條 登記事務ハ治安裁判所ニ於テ之ヲ取扱フモノトス治安裁判所遠隔ノ地方ニ於テハ郡區役所其他司法大臣指定スル所ニ於テ之ヲ取扱ハシム
- 第四條 登記所ノ位置及其管轄ノ區域ハ司法大臣之ヲ定ム
- 第五條 登記官吏ハ登記事務取扱ニ付テハ始審裁判所長ノ監督ヲ受クルモノトス
- 第六條 登記簿ニ登記ヲ爲サル地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ハ第三者ニ對シ法律上其効ナキモノトス

- 第七條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ニ付キ登記ス可キ概目左ノ如シ
 - 第一 地所ハ郡區町村名、字、番地、地目、反別若クハ坪數、地券面ノ價格
 - 第二 建物ハ郡區町村名、字、番地、地目、構造ノ種類、建坪、造作ノ有無
 - 第三 西洋形船舶、漁船、風帆船ノ區別、船名、番號、登簿噸數、公稱馬力、漁機及漁關ノ種類端艫其他必要ノ所屬品
 - 第四 日本形船舶ハ船名、番號、積石數、間數、端艫其他必要ノ所屬品
 - 第五 登記ノ事由
 - 第六 金額
 - 第七 質入書入ハ其期限及利息
 - 第八 所有者及登記ヲ受クル者ノ氏名住所
 - 第九 一筆ノ地所又ハ一棟ノ建物ヲ區別シ賣買讓與質入書入ヲ爲ストキハ其事實
 - 第十 二番以後ノ書入ヲ爲シ又ハ書入ニ爲シタルモノヲ質入ト爲シ質入ニ爲シタルモノヲ書入ト爲ストキハ其事實
 - 第十一 登記ノ年月日
- 第八條 登記ヲ請フ者アルハ登記官吏直ニ前條ノ概目ヲ審査シテ登記簿ニ登記シ本人ニ之ヲ示シ又ハ讀聞セタル上本人ヲシテ署名捺印セシメ且之ニ署名捺印スヘ

登記法ニ關スル件

第九條 地所建物船舶ニ關スル差押假差押差留假差留假處分及地所建物ノ收益差押ニ付テハ裁判所ノ命令書ニ依リ登記簿ニ其記入ヲ爲ス可シ

前項ノ記入ハ裁判所ノ命令アルトキニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第十條 登記ハ第一條第二項第十五條第二項第十六條第十七條及第十八條ヲ除クノ外契約者雙方ノ請求若クハ裁判所ノ命令アルトキニ非サレハ之ヲ爲シ又ハ變更シ又ハ取消スコトヲ得ス(二十年法律壹號改正ノ文)

第十一條 登記ノ謄本又ハ抜書又ハ一覽ヲ要スル者ハ其登記所ニ出頭シテ之ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 登記官吏ノ職務執行上ニ關シ不服アル者ハ管轄始審裁判所ニ抗告スルコトヲ得

第十三條 登記ニ關スル取扱ノ手續及登記簿ノ書式ハ司法大臣之ヲ定ム

第十四條 地所建物船舶ノ賣買讓與ニ付キ登記ヲ請フトキハ契約者雙方出頭シ其證書ヲ示ス可シ
前項ノ場合ニ於テ其物件質入書入中ニ係ルトキハ買受人讓受人ニ於テ之ヲ了知セ

第二章 賣買讓與

ル旨ヲ申出其記入ヲ請フヘシ

第十五條 家督相續ニ因リ地所建物船舶ノ登記ヲ請フトキハ雙方出頭シ其證書ヲ示ス可シ死亡者失踪者若クハ離縁戶主ノ遺留シタル地所建物船舶ヲ相續スル者登記ヲ請フトキハ親屬又親屬ナキトキハ近隣ノ戶主二名以上連署ノ書面ヲ差出シ且證明書類アルモノハ之ヲ示ス可シ

第十六條 行政官廳ノ公賣處分ニ因リ地所建物船舶ノ所有權ヲ得タル者登記ヲ請フトキハ落札達書及其代金完納ノ證書ヲ示スヘシ

第十七條 官有ノ地所建物船舶ノ拂下又ハ無代價下渡ヲ受テ登記ヲ請フトキハ其指令ノ本書若クハ達書ヲ示ス可シ

第十八條 民有ノ地所建物船舶ヲ官有ト爲シタルトキハ其官廳ハ第七條ノ概目ヲ示シテ登記ヲ求ムヘシ

第十九條 裁判執行上ノ糶賣若クハ入札ニ因リ地所建物船舶ノ所有權ヲ得タル者アルキハ裁判所ノ命令ニ依リ其登記ヲ爲スヘシ

第二十條 地所船舶ノ賣買讓與ニ因リ地券鑑札ノ下付若クハ書換ヲ請フ者ハ登記所ヨリ登記濟ノ證ヲ受ク可シ(二十年法律壹號改正ノ文)

第三章 質入書入

第二十一條 地所建物船舶ノ質入書入ニ付キ登記ヲ請フトキハ契約者雙方出頭シ其

證書ヲ示スヘシ

貸借ノ爲ニ非スシテ義務ヲ果ス可キ保證ノ爲メ地所建物船舶ヲ質入書入ト爲シ其ノ登記ヲ請フ者モ亦前項ノ規定ニ依ル可シ

第二十二條 書入ノ地所建物船舶ヲ重テ書入ト爲ストキハ第二債主ニ於テ之ヲ了知セル旨ヲ申出其記入ヲ請フヘシ書入ト爲リタル地所ヲ質入ト爲シ又ハ質入トナリタル地所ヲ書入トナストキ亦同シ

第二十三條 質入書入契約ノ全部若クハ一部ノ解除又ハ變更ニ付登記ヲ請フトキハ契約者雙方出頭シ其證書ヲ示スヘシ

第二十四條 同一ノ地所建物船舶ニ付數個ノ登記ヲ爲ストキハ其登記ヲ請フ日時ノ前後ニ因リ登記ノ順序ヲ定ムルモノトス

第四章 登記料及手数料

第二十五條 地所建物船舶賣買ノ登記ニ付テハ其買受人左ノ賣買代價ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ヲ納ムヘシ

賣買代價

登記料

五圓未滿

五錢

五圓以上	拾圓未滿	拾圓以上	貳拾五圓未滿	拾錢
拾圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五錢
貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	五拾錢
貳拾五圓未滿	貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	壹圓
百圓未滿	貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	壹圓
貳百圓未滿	貳拾五圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳圓
貳百圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	三圓
貳百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	四圓
三百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	五圓
三百圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	六圓
三百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	七圓
四百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	八圓
四百圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
五百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
五百圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
七百五拾圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
七百五拾圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
千圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
千圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
千五百圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	
千五百圓以上	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	貳拾五圓未滿	

登記法ニ關スル件

千五百圓以上
 貳千圓未滿
 貳千圓以上
 五千圓未滿
 五千圓以上
 壹萬圓マテ

九圓
 拾圓
 拾貳圓

以上五千圓マテ毎ニ貳圓ヲ增加ス

第二十六條 地所建物船舶讓與ノ登記ニ付テハ其讓渡人讓受人ニ於テ時價相當ノ價格ヲ定メ前條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其讓受人ヨリ登記料ヲ納ムヘシ

第二十七條 地所建物船舶賃入書入ノ登記ニ付テハ其賃入書入人ハ第二十五條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ノ半額ヲ納ム可シ但一件ニ付キ金五錢ヨリ下スコトヲ得ス

第二十八條 第二十一條第二項ノ登記ニ付テハ價格ヲ定メ前條ノ例ニ依リ其登記料ヲ納ムヘシ

第九條第一項ノ記入ニ付テハ其價格ノ定マリタル物件ハ其價格又價格ノ定マリサル物件ハ時價相當ノ價格ヲ定メ前條ノ例ニ依リ其登記料ヲ納ムヘシ

第二十九條 第十五條ノ登記ニ付テハ時價相當ノ價格ヲ定メ第二十五條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ノ五分一ヲ納ムヘシ但一件ニ付キ金五錢ヨリ下

額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ノ五分一ヲ納ムヘシ但一件ニ付キ金五錢ヨリ下スヲ得ス

第三十條 左ニ掲クル者ハ手数料トシテ金五錢ヲ納ム可シ

第一 登記事件ノ取消又ハ其變更ノ登記ヲ請フ者ハ每一件

第二 登記ノ謄本若クハ披書ヲ請フ者ハ每一枚

第三 登記ノ一覽ヲ請フ者

第三十一條 左ニ掲クルモノハ登記料及手数料ヲ要セス

第一 官廳ノ請求ニ係ル登記

第二 公立ノ學校病院、公園及養育院ニ係ル登記

第三 社寺、堂宇及墳墓地ニ係ル登記

第四 人民共有ノ用惡水路溜池敷、堤敷、井溝敷及公衆ノ用ニ供スル道路ニ係ル登記

第三十二條 登記所ニ於テ第二十五條第二十六條第二十八條第二項及第二十九條ニ從ヒ届出タル價格ヲ不相當ト認ムルトキハ其事件ニ關係ナキ者三名ヲ選ヒ之ヲ評價人ト爲シテ其價格ヲ評定セシムヘシ

第三十三條 評價人ノ評定シタル價格届出ノ價格ヨリ増加スルトキハ其評價ニ關ス

ル費用ハ其登記料ヲ納ムル者之ヲ負擔ス可シ若シ其價格届出ノ價格ト同價又ハ低下ナルトキハ該費用ハ其登記所ニ於テ之ヲ支辦ス可シ

第三十四條 評價人ニ選ハレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十五條 評價人ノ日當ハ登記所ノ見込ヲ以テ一日金貳拾錢ヨリ五拾錢マテヲ給ス可シ

第五章 罰則

第三十六條 詐偽ノ所爲ヲ以テ登記料ヲ減脱シ及之ニ通謀シタル者ハ貳圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 本法ニ依リ罰金ニ處スル者ハ刑法ノ不諭罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

附則

第三十八條 明治十年第二十八號布告船舶賣買書入質手續同十三年第五十二號布告土地賣買讓渡規則同十四年第三十號布告地券証印稅則其他從前ノ法律規則中本法ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十九條 地所賣買讓與荒地起返開墾歛下年期明等總テ地券下付書換ニ係ル手續及其手数料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第四十條 登記所ノ登記簿ニ未ダ登記セサル地所建物船舶ニ付登記ヲ請フ者ハ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定繫場ノ戶長ノ證書ヲ以テ其所有者タルヲ及其物件ニ故障ナキヲ示スヘシ

第四十一條 本法ハ明治二十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○賣買(讓與)登記請求名刺書式(用紙半紙)半截

何國何(郡區)何(町村)何番戶(士族平民)

賣渡人 何ノ 誰 印

地所(建物)(船舶)賣買(讓與)ニ付登記願

此代價金何圓

此登記料金何圓何拾錢

年 月 日

何國何郡何村何番戶 士族 平民

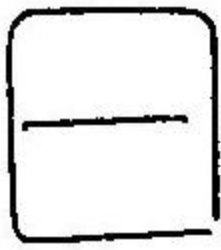
買受人 何ノ 誰 印

○印鑑証明願書式

(印鑑用紙ハ堅五寸横一寸但厚紙ヲ用テ印鑑証明願用紙ハ半紙ヲ用ヒ印鑑ハ別紙ヲ貼付スヘシ)

印鑑證明願

區役所又
ハ戸長
役場印



印

印鑑

何

某

何國何郡何町村何番戸

右印鑑御証明被成下度奉願候也

年月日

何町村長何某殿

右印鑑相違無之候也

年月日

何郡町村長何某印

何國何郡何町村何番戸
何某印

○地所証明願書々式(用紙半紙)

地所證明書

何國何郡何町村字何々番地

一田何反何畝何步

地價何拾何圓何拾錢

何國何郡何(町村)字何々番地
一畑何反何畝何步
地價何圓何拾錢
右物件自分ノ所有タルヲ御証明被成下度此段奉願候也

年月日

何町村長何某殿

右地券臺帳及何々ニ依リ取調候處現今何郡何町村何ノ誰ノ所有ニシテ且故障無之ヲ証明スル者也

年月日

何郡町村長何ノ誰印

○建物證明願書々式(用紙半紙)

建物證明書

何國何郡何町村字何々番地ニアル何番戸何番
一瓦葺二階造座敷

總坪數何坪
内譯 上坪何坪 壹棟
下坪何坪

登記法ニ關スル件

同何番戸何番

一瓦葺平屋門長屋

壹棟

建坪何坪

以上造作付圖面添

右物件自分ノ所有タルコトヲ御証明被成下度此段奉願候也

何郡町村何番戸士族
平民

年月日

何某印

何郡町村長何某殿

右家屋臺帳及何々ニ依リ取調候處現今何郡町村何某ノ所有ニシテ且故障無之ヲ證明スル者也

何郡町村長何某印

地所登記濟証下付願

何郡何町村何番地

字何々

一田何反何畝歩

地價金何圓

右之地所今般何郡何町村何番地何某ヨリ買受候ニ付登記濟証御下付相成度此段奉願候也

何郡何町村番戸

年月日

何某印

某治安裁判所御中

朱書ニテ

登記濟口裁判所印

年月日

○船舶登記濟証下付願書々式(用紙半紙)

船舶登記濟証御下付願

登記法ニ關ス件

定繫所何

第何號(鑑札番號)
一西洋形船

何丸

檣

何本

幅

何尺

深

何尺

登簿噸數

何噸

公稱馬力

若干

漁機

何々

漁鐘

何々

端船

何艘

何々

何々

右ノ船舶今般何郡何町何番戸何之誰ヨリ買受候ニ付鑑札書換願出度候間登記濟証御下付被成下度此段奉願候也

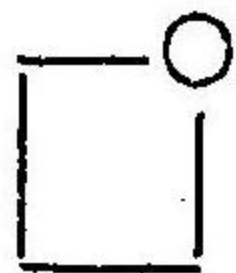
年月日

何國何郡何町何番戸
士族
平民
何某印

某治安裁判所御中

(委任狀書式(用紙半紙))

委任狀



拙者義地所賣買登記請求事件ニ付何某ヲ以テ部理代人ト定メ拙者ノ名義ヲ以テ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事

一何某ヨリ買取タル何國何郡何村ノ田地何反歩ニ付某登記所へ登記ヲ請求スル事
一登記簿ニ押印シ登記料ヲ上納シ其他登記ニ必要ナル一切ノ事件ヲ處辦スル事
右代理ノ委任狀仍テ如件

年月日

何國何郡何町何番戸
何某印

○後見人タル證明願書式(用紙半紙)

財産管理人ノ證明書式モ之ニ準ス

後見人タルノ證明願

登記法ニ關スル件

一私儀何國何郡町村番戶何之某所有ノ地所(若クハ建物船舶)賣買(又ハ讓與書入質入)ノ登記出願仕度就テハ明治何年月日付テ以テ御届及ヒ置候通右何某ノ後見人(代理人)タルヲ御証明被成下度此段奉願候也

何國何郡町村何番戶
何ノ某後見人

年月日

何之某印

何郡町村長某殿

前書願出ノ趣相違無之因テ之レカ及証明候也

年月日

何郡町村長何某印

○家督(遺產)登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何郡何村何番戶士族
讓渡人何ノ誰印

地所(建物)船舶家督(遺產)相續ニ付登記願

此價格金何圓

此登記料金何圓何錢

年月日

何國何郡何村何番戶士族
讓受人何ノ誰印

○遺產相續証明願書式

(離縁戶主及失踪者ノ遺留シタル物件ヲ相續スル其証明書式モ本雛形ニ準スヘシ)
遺產相續ニ付証明願

何國何郡町村番地

字何

一田五反步

地價何拾何圓

何國何郡町村番地

登記法ニ關ル件

何番戸建物

一木造瓦葺平屋

壹棟

建坪何程

、、、、、、

一土藏

一棟

、、、、

右ノ地所建物父何某所有之處死亡ノ爲ノ私ニ於テ遺産相續仕候ニ付從來父何某ノ所有ナリシ一及故障ナキコトヲ御証明被成下度此段奉願候也

何郡町村番戸

年月日

何 某 印

何郡町村長何某殿

○遺産相續ノ登記願書(用紙半紙)

遺産相續ノ登記願

何國何郡何町村字何

何番地

一田何反歩

地價何圓

何村字何

何番地

一畑何町歩

地價何圓

右ノ地所何某所有ニ有之候處何年何月何日何某家出ノ末行衛相分ラヌ候ニ由リ其筋ノ認可ヲ經テ何年何月何日何某義遺跡相續致候隨テ前記ノ地所讓受候條遺產相續ノ登記被成下度親屬連署ヲ以テ此段奉願候也

何國何郡何町村何番戸

年月日

相續人 何 某 印

(某トアルハ失蹤者ヲ指スナリ)

全 某 妻 何 某 印

全 某 甥 何 某 印

全 某 弟 何 某 印

某治安裁判所御中

登記法ニ關スル件

○改氏名届書式(用紙適宜)

改氏名届

改 小川 仁 平

私儀今般都合ニヨリ官許ヲ經テ前顯ノ通改氏名仕候間登記簿御訂正相成候様致度此
段御届申上候以上

何郡町村番戸

伊藤利三事

小川 仁 平 印

年 月 日

某裁判所御中

○遺囑証書ノ式(用紙適宜)

遺囑証書

何國何郡何町村番地

字何々

一田壹反步

地價金何圓

一畑貳反步

地價金何圓

右地所二筆ハ拙者所有之處死亡ノ後ハ田壹反步ヲ長男甲吉へ畑二反步ヲ次男乙藏へ
分與ノ事ヲ後日苦情ナキ爲メ存命中豫メ定メ置クモノナリ
右遺囑ノ証券依テ如件

何郡町村番戸

年 月 日

何 某 印

甲吉との

乙藏との

○証文へ親屬連署式

証書

何々

年月日

前書契約ノ趣拙者共ニ於テモ異議無之候依之左ニ連署仕候也

住所

何某後見人

何某印

住所

何某父氏名印

住所

何某叔父氏名印

住所

何某從弟氏名印

何某殿

何某トアルハ
幼者ヲ指ス

○公賣落札登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何郡何町何番戶士族

落札人何ノ某印

地所(建物)(船舶)公賣落札ニ付登記願

此公賣代金何拾何圓

此登記料金何錢

年月日

○拂下登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何郡何町何番戶士族

何ノ誰印

地所(建物)(船舶)拂トテ得候ニ付登記願

此拂下代金何圓

此登記料金何圓何拾錢

年月日

○糶賣(入札)登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何郡何町何番戶士族

何ノ誰印

地所(建物)(船舶)糶賣入札ニ依リ所有權ヲ得候ニ付登記願

登記法ニ關スル件

此糶賣(又ハ落札)代金何圓

此登記料金何圓何拾錢

年月日

○書入(質入)登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何市郡何町何番戶士族

債主何

誰

何國何市郡何町何番戶士族

右代人何

誰

地所(建物)(船舶)書入(質入)ニ付登記願

此貸借(又ハ見積)金何圓

此登記料金何錢

年月日

何國何市郡何町何番戶士族

負債主何

誰

何國何市郡何町何番戶士族

右後見人何

誰

○差押登記請求名刺書式(用紙半紙半截)

何國何市郡何町何番戶士族

差押人何ノ

誰印

地所(建物)(船舶)差押ニ付記入願

此價格金何百何拾圓

此登記料何圓何錢

何國何市郡何町何番戶士族

被差押人何

誰

年月日

○差押ノ記入ヲ請フニ用ユル物件證明書式(用紙半紙)

建物御證明願

何國何市郡何町何番戶何番

一葉葺二階

造座敷

壹棟

建坪何坪

(二階造ナレハ)

登記法ニ關スル件

總坪數何坪 內譯 上坪何坪 下坪何坪

右建物何國何郡町村何番邸何ノ誰所有ニ相違無之候哉御取調ノ上御証明相成度候也

何國何郡町村何番戶士族平民

何ノ誰印

年月日

何郡町村長何某殿

右何々ニ依リ取調候處何某所有ニシテ故障無之候也

何郡町村長 何某印

年月日

松船御証明願

定繫場何郡何町村何港(何川岸)

第何號

一日本形何々丸 一艘

何石積

長 何間

幅 何間

深 何尺

(所屬船其他船具アレハ記スヘシ)

右松船何國何郡何町村何番戶數何某ノ所有ニ相違無之哉御取調ノ上御証明被成下度候也

何國何郡何町村何番戶

何某印

年月日

何郡町村長何某殿

右何々ニ依リ取調候處何某所有ニシテ故障無之候也

何郡町村長 何某印

年月日

○登記謄本(又ハ抜書)請忝名刺書式 用紙半紙半截

何國何郡何町村何番戶士族平民

何ノ誰印

地所(建物)(船舶)登記ノ謄本(又ハ抜書)下付願

但何町村地所(建物)(船舶)登記第何號

此手数料金何錢

年月日

○登記閱覽請求名刺書式

何國何市郡何町何番戶
士族 誰 印
平民

地所(建物)(船舶)登記簿閱覽願

但何(町村)地所(建物)(船舶)登記第何號ノ分

此手數料金何錢

年月日

○登記取消變更登記請求名刺書式

何國何市郡何町何番戶
士族 誰 印
平民

地所建物船舶登記取消(又ハ變更)願

但何(町村)地所(建物)(船舶)登記第何號

此手數料金何錢

年月日

何國何市郡何町何番戶
士族 誰 印
平民

何國何市郡何町何番戶
士族 誰 印
平民

○燒失(流亡)届書式(用紙適宜)

書入質入ニ係ル時ハ債主負債主ノ連署ヲ要ス

建物(地所)燒失(流亡)届

何郡町村何番地

一木造瓦葺二階造壹棟(地所何々)

右之建物(地所)明治何年何月何日全部燒失(流亡)致候間此段御届申上候以上

何郡町村番戶

年月日

何 某 印
何 某 印

某裁判所御中

○船舶定繫所更改ニ付謄本請求名刺書式

何國何市郡何町何番戶
士族
平民

登記法ニ關スル件

船舶定繫所更改ニ付謄本下付願
但何町村(船舶)登記第何號
此手數料金何錢
年月日

何之誰印

○船舶定繫所變更請求名刺書式

何國何郡何町何番戶ノ士族
何ノ平民

誰印

船舶定繫所更改ニ付變更登記願
此手數料金五錢

年月日

○舊公証取消請求名刺書式

何國何郡何町何番戶ノ士族
負債主何ノ平民

誰印

地所(建物)(船舶)舊公証簿取消願

但明治何年何月舊公証第何號
年月日

○官有拜借地ノ與書ヲ請フ書式(用紙半紙但
二通ヲ要ス)
與書御願書

今般何國郡何町何番官有拜借地ニアル建物(賣買讓渡)(書入)(質入)ニ致度ニ付
拜借中ノ與書被成下度証券(賣買讓渡其他ノ)相添此段奉願候也
各証券ヲ云フ

何國何郡何町何番戶ノ士族
平民

年月日

誰印

右町村長何ノ誰印

何郡長某殿

○差押假差押差留假差留假處分收益處分命令書下付願書式

不動產及船舶(差押)(假差押)(差留)(假差留)(假處分)(收益差押)命令
書下付願

何國何郡何町何番地字何

一宅地(田)(畑)何反何畝步
地價何圓

何國何郡町村字何々番地ニアル何何番戶何番

一瓦葺_{二階}造本家 壹棟 造作付

建坪何坪
(二階造ナレハ)

總坪數何坪 內 譯 上坪何坪
下坪何坪

定繫所何國郡町村何所

第何號(鑑札番號)

一西洋形船 何 丸

橋 何 本

幅 何 尺

深 何 尺

登記噸數 何 噸

於稱馬力 若 干

流 機 何 々

流 鐘 何 々
端 船 何 艘
何 々 何 々
右者何ノ誰ニ相係ル何々事件詞訟中ノ處何ノ誰ニ於テ財產ヲ賣却又ハ脫漏等ノ摸樣
相見ニ損害ヲ蒙ルルノ恐有之ニ付前記何々ノ物件差押ノ記入請求致度候間何卒差押
ノ御命令書御下付被下度此段奉願候也

年 月 日

某裁判所判事何ノ誰殿

何國何郡町村番戶 _{士族} 平民

何 誰 印

○所有權登記請求名刺書式

地所(建物)(船舶)ノ所有權登記願

何國何郡町村番戶 _{士族} 平民

所有者 何 誰 印

此價格何圓

此登記料金何錢

登記法ニ關スル件

年月日

○評價書式 用紙適宜

評 價 金

何國何郡何町村字番地
一田何反步

此評價格金何百圓

右實地ニ就キ致鑑査候處前記金額ヲ以テ相當ト致評定候也

評 價 人

住所

氏 名 印

全

住所

氏 名 印

全

住所

氏 名 印

某治安裁判所

治安裁判所判事何某殿

○登記價格引直受書式

登記價格引直受書書

何國何郡何町村番地

字何々

一田壹反步

地價金何圓

右之地所今般何某ヨリ代價何拾圓ヲ以テ買取候處此代價ハ不相當ト御見認相成評價可相成筈ノ處私ニ於テモ其不可ナルヲ認メ候間價格何十圓ヲ以テ登記相成候様致度此段連署ヲ以テ御受申上候以上

住 所

賣主 氏 名 印

住 所

買主 氏 名 印

年 月 日

某治安裁判所

治安裁判所判事何某殿

○二登記所管轄ニ涉ルトキノ届書式(用紙適宜)

三管轄以上ニ涉ルトキモ之ニ準スヘシ

代價區分調書

一何十圓

内

金何圓

金何圓

金何圓

右之通登記料上納目安トシテ引分候也

何年月何日付賣買
証書面ノ金尙

甲村所在地所何筆ニ對スル
代金見積高

乙村所在地所何筆ニ對スル
代金見積高

丙村所在地所何筆並ニ建物
何棟ニ對スル見積高

買主 氏名 印

住所

賣主 氏名 印

住所

年月日

買主 氏名 印

連名書

○共有者連名簿(美濃ノ冊子トス)

何國何郡町村番地

一田何反何畝步

地價金何拾何圓

何國何郡町村番地

何番戸建物

一木造瓦葺二階造

建坪何程

壹棟

住所

氏名 印

全

氏名 印

全

氏名 印

印 印

○公証人規則

◎法律第二號

第一章 總則

明治十九年八月十一日(公布)

- 第一條 公証人ハ人民ノ囑託ニ應シ民事ニ關スル公正証書ヲ作ルヲ以テ職務ト爲ス
- 第二條 公証人ハ法律命令ニ背キタル事件ノ公正証書又ハ他ノ官吏ノ作ルヘキ公証書類ヲ作ルコトヲ得ス若シ之ヲ作リタルトキハ公正ノ効チ有セス
- 第三條 公証人ノ作リタル公正証書ハ完全ノ證據ニシテ其正本ニ依リ裁判所ノ命令ヲ得テ執行スルカアル者トス但刑事裁判所ニ偽造ノ訴アルルキハ其証書ノ執行ヲ中止ス可シ又民事裁判所ニ偽造ノ申立アルトキハ其証書ノ執行ヲ中止スルコトヲ得
- 第四條 公証人ハ治安裁判所ノ管轄地ヲ以テ受持區トシ其區内ニ於テ司法大臣ノ認可ヲ受ケタル町村内ニ住居シ其居宅ニ役場ヲ設ケ役場ニ於テ職務ヲ行フ可シ但役

場外ニ住居セントスルトキハ管轄始審裁判所ノ認可ヲ可クヘシ

己ムヲ得サル事件ニ付テハ受持區内ニ限リ役場外ニ於テ其職務ヲ行フ可シ

第五條 各區内公証人ノ員數ハ司法大臣之ヲ定ム

第六條 公証人ハ司法大臣ニ隸屬シ控訴院長始審裁判所長ノ監督ヲ受クルモノトス

第七條 公証人其受持區内ニ於テハ區外人ノ爲ニモ職務ヲ行フ可シ但受持區外ニ於

テハ何人ノ爲メニモ職務ヲ行フコトヲ得ス若シ之ヲ行ヒタルトキハ其書類ハ公正ノ効チ有セス

第八條 公証人ハ理由ナシテ人民ノ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルトキ

囑託人ノ求メアレハ其理由ヲ記シテ渡スヘシ

第九條 公証人ノ職務執行上ニ關シ不服アル者ハ管轄始審裁判所ニ抗告スルコトヲ得

第十條 公証人ハ公証人何某ト刻シタル方六分ノ役印ヲ作り其印鑑ニ氏名ヲ手書シ

之ヲ管轄始審裁判所及治安裁判所ニ差出スヘシ

前項ノ印鑑ヲ差出サ、ル間ハ職務ヲ行フコトヲ許サス若シ之ヲ行ヒタルトキハ其

書類ハ公正ノ効チ有セス

第十一條 公証人已ムヲ得サル事故アリテ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ近隣ノ公

證人ニ代理ヲ囑シ管轄始審裁判所ニ其旨ヲ届出ヘシ

公証ニ關スル件

第十二條 公證人ハ筆生ヲ置キ書類ヲ作ル補助ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 公證人ノ作ル證書及謄本ノ用紙ハ某始審裁判所管內公證人役場ト刻シタル野紙ヲ用フヘシ

第十四條 公證人ノ取扱フ可キ書類左ノ如シ

第一 原本 證書ノ本紙ニシテ公證人ノ保存スルモノ

第二 正本 原本ノ全文ヲ記シタルモノニシテ本文義務ノ執行ヲ裁判所ニ願出ツヘキ旨ヲ其末尾ニ記載シタルモノ

第三 抄録正本 原本ノ一部分ヲ記シ其末尾ニ前項ト同一ノ記載アルモノ

第四 正式謄本 原本ノ全文ヲ寫シタルモノニシテ原本ニ代ヘ得ヘキモノ

第五 抄録正式謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタル者ニテシ原本ニ代ヘ得可キモノ

第六 謄本 原本ノ全文ヲ寫シタルモノ

第七 抄録謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタルモノ

第八 見出帳 日々授受シタル書類ノ番號種類等ヲ順次ニ記入スルモノ

第十五條 原本其他書類ノ本書ハ役場ニ之ヲ保存シ他ノ官吏ノ公證ヲ受クル爲メノ外裁判所ノ命令ニ依ルニ非サレハ役場外ニ出スコトヲ得ス

第十六條 裁判所ノ命令ニ依ルノ外關係外ノ者ニ書類ノ謄本ヲ渡スコカラス

第十七條 公證人ハ其取扱ヒタル公證事件ヲ漏洩ス可カラズ

第二章 公證人ノ選任及試験

第十八條 公證人タル可キ者ハ左ノ件々ヲ具備スルヲ要ス

第一 滿二十五歳以上ナル事

第二 身元保証金ヲ管轄始審裁判所ニ差入ル、事

第三 定式試験ノ及第證書ヲ有スル事但裁判官檢察官タリシ者及法學士法科大學卒業生代言人ハ此條件ヲ要セズ

第四 丁年者二名以上ニテ其品行ヲ保証スル証書ヲ有スル事

第十九條 保証金ノ額ハ土地ノ狀況ニ從ヒ貳百圓以上五百圓以下ニ於テ豫メ司法大臣之ヲ定ム

第二十條 左ニ掲グル者ハ公證人タルコトヲ得ズ

第一 公權剝奪若クハ停止中ノ者

第二 盜罪詐僞罪賄賂收受ノ罪及贓物ニ關スル罪ヲ犯シ刑ヲ受タル者

第三 身代限ノ處分ヲ受テ負債ノ辦償ヲ終ヘサル者

第四 官吏懲戒令ニ依リ免職セラレタル者

第二十一條 公證人ヲ試験スル場所及期日ハ司法大臣之ヲ定メ少クモ二箇月前ニ告

示ス可シ

第二十二條 試験委員ハ控訴院若クハ始審裁判所ノ裁判官二名檢察官一名トシ司法大臣臨時之ヲ命ス

第二十三條 試験ノ科目ハ公証人規則民法訴訟法商法其他公証人ノ職務ニ關スル法律命令トス

第二十四條 公証人タラント欲スル者ハ願書ニ試験及第證書ノ寫ヲ添ヘ管轄始審裁判所若クハ控訴院ヲ經テ司法大臣ニ差出ス可シ但裁判官檢察官タリシ者ハ其官記法學士ハ其學位法科大學卒業生ハ其卒業證書代言人ハ其免許狀ヲ以テ及第證書ニ代フルヲ得

第二十五條 公証人ハ司法大臣之ヲ任ス

第二十六條 試験ノ方法ハ筆記口述ノ二種トス筆記試験ニ合格セサル者ハ口述試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二十七條 試験及第者コハ及第證書ヲ授與ス

第三章 証書

第一節 證書ノ原本

第二十八條 公証人證書ヲ作ルニハ其囑託人ノ氏名ヲ知り面識アルヲ必要トシ且丁

年者一名ノ立會人ヲ要ス之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

公証人囑託人ノ氏名ヲ知ラス面識ナキトキハ其本籍或ハ寄留地ノ郡區長若クハ戶長ノ證明書又ハ公証人氏名ヲ知り面識アル丁年者二人以上ヲ以テ其人ヲ證セシム可シ之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

第二十九條 左ニ掲クルモノハ立會人タルコトヲ得ス

第一 公証人及囑託人ノ親屬雇人又ハ公証人ノ筆生

第二 第二十條ニ掲ケタル者

第三十條 証書コハ其本旨ノ外左ノ件々ヲ記載スヘシ

第一 囑託人及立會人ノ族籍住所職業氏名年齢

第二 囑託人代理人ナルトキハ委任狀ヲ所持シタルコト及其本人ノ族籍住所職業氏名年齢

第三 囑託人後見人ナルトキハ後見入タルノ證書ヲ所持シタルコト及其本人ノ族籍住所職業氏名年齢

第四 郡區長戶長ノ證明書ヲ以テ証シタルトキハ其旨又証人ヲ要シタル時ハ其族籍住所職業氏名年齢

第五 證書ヲ作りシ場所及其年月日若シ場所ヲ記セス又ハ年月日ノ記入ヲ遺脱シ

タルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

第三十一條 證書ヲ作ルニハ普通平易ノ語ヲ用ヒ字畫明瞭ナルヲ要ス
接續スヘキ字行ニ空白アル時ハ墨線ヲ以テ之ヲ接續ス可シ

數量並ニ年月日ヲ記スルニハ壹貳參肆伍陸柒捌玖拾陌阡萬ノ字ヲスヘシ

第三十二條 度量衡貨幣ノ數量、名稱及曆法ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ記ス可シ
既ニ廢シタル度量衡、貨幣、曆法又ハ外國ノ度量衡、貨幣、曆法ヲ記セサルヲ得サル
場合於テハ之ヲ用フルコトヲ得

第三十三條 證書ニ追加改正ヲ爲ストキハ其文字並ニ何行ニ追加改正ヲ爲シタルコ
トヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ附記シ公証人並ニ關係人捺印スヘシ又文中消字ヲナ
ス時ハ其原字ノ尙ホ明カニ讀得ヘキヲ要ス且何行ニ若干字ヲ消シタルコトヲ欄
外又ハ末尾ノ餘白ニ附記シ公証人並ニ關係人捺印ス可シ之ニ違ヒタルトキハ追加
改正消字ノ効チ有セス

第三十四條 證書ヲ作リタルトキハ關係人ニ讀聞セ其旨ヲ記入シ然ル後ニ公証人並
關係人各自署名捺印シ公証人ハ某治安裁判所管內某地住居ト肩書スヘシ
公証人並ニ關係人ノ署名捺印ナキトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス
若シ署名スル能ハサル者アルトキハ明治十年第五十號ノ布告ニ從テ可シ之ニ違ヒ

タルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

第三十五條 證書ノ綴目合目ニハ公証人並ニ囑託人之ニ捺印ス可シ

第三十六條 公証人ハ自己及親屬ノ爲メニ證書ヲ作ルコトヲ得ス其親屬他人ノ代理
人タルトキモ亦同シ之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

第三十七條 公証人若シ囑託人ノ爲メ訴訟代人若クハ代言人ト爲リ又ハ爲リタルコ
トアルトキハ其訴訟事件ニ付キ證書ヲ作ルコトヲ得ス之ニ違ヒタルトキハ其證書
ハ公正ノ効チ有セス

第三十八條 公証人ハ自己親屬立會人又ハ證人ノ爲メニ利益アル條件ヲ證書中ニ記
ス可カラズ若シ之ヲ記シタルトキハ其條件ハ無効トス

第三十九條 公証人ハ證書ノ原本ヲ保存ス可シ若シ之ヲ保存セズ又ハ亡失シタル場
合ニ於テ第四十七條ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ其證書ハ公正ノ効チ有セス

第四十條 囑託人若シ代理人又ハ後見人ナルトキハ其委任狀又ハ其證書ノ寫チ原本
ニ連綴ス可シ其寫ニハ本書ト對照シ相違ナキ旨ヲ附記シ公証人並ニ關係人署名捺
印シ其寫ト本書トニ割印スヘシ

第四十一條 證書ニ關係ノ書類ハ之ヲ原本ニ連綴スルコトヲ得之ヲ連綴シタルトキ
ハ其旨ヲ原本ノ欄外又ハ末尾ニ附記シ公証人並ニ關係人捺印スヘシ

第四十二條 原本ニハ証券印稅規則ニ定メタル印紙ヲ貼用スヘシ

第二節 正本及謄本

第四十三條 正本ハ數量ノ定リタル金錢其他換用物若クハ有價證券ノ支辨ニ限リ權利者ノ請求ニ依リ之ヲ渡ス可シ之ニ違ヒタルトキハ正本ノ効チ有セス

正式謄本及抄録正式謄本ハ權利者ノ請求ニ依リ之ヲ渡スヘシ

第四十四條 正本又ハ正式謄本ハ原本ト同時ニ又ハ原本ヲ作リタル後ニ於テ之ヲ作ルコトヲ得原本ト同時ニ作ルルハ關係人ノ面前ニ於テシ原本ヲ作リタル後ニ作ルルハ更ニ義務者ノ立會ヲ以テス可シ義務者出席セサルハ正本又ハ正式謄本ヲ求ムル者ヨリ管轄始審裁判所ニ出願シ其命令ニ依テ他ノ公証人一員又ハ裁判所ノ裁判官檢察官又ハ書記一員ノ立會ヲ以テ之ヲ作ル可シ之ニ違ヒタルハ其効チ有セス

裁判所ノ命令ニ依テ正本又ハ正式謄本ヲ作リタルトキハ其末尾並ニ原本ノ末尾ニ其旨ヲ附記シ其命令書ハ之ヲ原本ニ連綴スヘシ

第四十五條 正本又ハ正式謄本ヲ作ルトキハ第三十一條第三十三條第三十四條第三項及第三十五條ノ規定ニ依ルヘシ

正本又ハ正式謄本ニハ權利者ノ氏名並ニ之ヲ作リタル年月日及場所ヲ記シ公証人並ニ義務者署名捺印ス可シ前條第一項ノ場合ニ於テハ公証人及他ノ公証人又ハ裁

判所ノ官吏署名捺印スヘシ之ニ違ヒタルハ其効チ有セス

第四十六條 正本又ハ正式謄本ヲ渡シタル時ハ原本ノ末尾ニ其旨ト年月日トヲ附記シ權利者ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第四十七條 正本又ハ正式謄本ハ原本ノ亡失シタルハ管轄始審裁判所ノ認可ヲ經テ原本トシテ保存スヘシ

第四十八條 數事件ヲ列記シ數人各自ニ關係ヲ異ニスル証書ハ權利者ノ請求ニ依リ其有用ノ部分ヲ抄録シテ正本又ハ正式謄本ヲ作ルコトヲ得

正本又ハ正式謄本ヲ渡シタルモノニハ更ニ抄録正本又ハ抄録正式謄本ヲ渡スヘカラス又抄録正本又ハ抄録正式謄本ヲ渡シタルモノニハ更ニ正本又ハ正式謄本ヲ渡スヘカラス之ヲ渡スト雖モ其効チ有セス

第四十九條 正本又ハ正式謄本ハ管轄始審裁判所ノ命令アルニ非サレハ再度之ヲ渡スコトヲ得ス之ヲ渡スト雖モ其効チ有セス

再度以上正本又ハ正式謄本ヲ得ント欲スル者ハ其事由ヲ具シテ管轄始審裁判所ニ願出ツヘシ管轄始審裁判所ハ原本ヲ保存スル公証人ニ其正本又ハ正式謄本ヲ渡スヘキコトヲ命令スルコトアルヘシ

其正本又ハ正式謄本ニハ幾度ノ正本又ハ正式謄本ナルコトヲ末尾ニ附記シ公証人署

公証ニ關スル件

名捺印スヘシ之ニ違ヒタル時ハ其効チ有セズ

第五十條 抄録正本又ハ抄録正式謄本ハ總テ正本又ハ正式謄本ト同一ノ手續ニ依リ之ヲ作ルヘシ其効力モ亦同シ

第五十一條 証書ノ謄本及其附属書類ノ寫ハ關係人ノ求メニ應シ之ヲ渡スヘシ

第五十二條 謄本コハ原本ノ全文ヲ寫シ其末尾ニ謄本ト記シ公證人署名捺印スヘシ

第五十三條 抄録謄本ニハ原本ノ年月日及囑託人ノ族籍住所職業氏名ヲ記シ末尾ニ

抄録謄本ト記シ公證人署名捺印スヘシ

第五十四條 管轄始審裁判所ノ命令ニ依リ關係外ノ者ニ謄本ヲ渡シタル時ハ其命令書ヲ原本ニ連續シ末尾ニ命令書ヲ受ケタル旨並ニ年月日ヲ附記シ受取人ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第三節 見出帳

第五十五條 公證人ハ見出帳ヲ作り記入前管轄始審裁判所ニ差出シ綴目合目ニ其所長ノ官印ヲ受ク可シ

第五十六條 見出帳ニハ日々取扱ヒタル書類中ヨリ第三十一條及第三十三條ノ規定ニ從ヒ左ノ件々ヲ記入スヘシ

第一 囑託人ノ住所氏名

第二 書類ノ番號種類

第三 書類ヲ取扱ヒタル年月日

第四節 兼任及書類ノ授受

第五十七條 公證人死去失踪免職辭職轉職又ハ他ノ役場ニ轉シテ直ニ後任者ノ命セラレザル場合又ハ停職ノ場合ニ於テハ管轄始審裁判所ハ近隣ノ公證人ニ命シテ其事務ヲ兼任セシムヘシ

役場ヲ廢シタルトキハ書類ノ引繼チ近隣ノ公證人ニ命スヘシ

第五十八條 前條ノ場合ニ於テ兼任者ナキトキ其他必要ト見認ムル場合ニ於テハ管轄始審裁判所ハ直ニ其役場ノ書類ニ封印ヲ爲ス可シ

第五十九條 公證人免職辭職又ハ他ノ役場ニ轉シタル場合ニ於テハ後任者又ハ兼任者ハ前任者ト立會ヒ書類ノ提要目錄ヲ作り共ニ署名捺印シテ授受ス可シ

死去失踪其他ノ事故ニ因リ引渡人ナキ場合ニ於テハ後任者又ハ兼任者ハ管轄始審裁判所ノ官吏ト立會ヒ提要目錄ヲ作り受取ル可シ

書類封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼任者ハ管轄始審裁判所ノ官吏ト立會ヒ封印ヲ解キ提要目錄ヲ作り受取ル可シ

後任者又ハ兼任者ハ提要目錄ヲ作りタル日ヨリ一月以内ニ其目錄ノ寫一通ヲ管轄

始審裁判所ニ差出スヘシ

第六十條 公証人停職ノ場合ニ於テハ兼任者ハ第五十九條ノ手續ヲ爲スニ及ハス書類ノ保存ハ停職者之ヲ擔當スヘシ

兼任者ハ停職者ノ役場ニ於テ其職務ヲ行フ可シ

第六十一條 兼任者引續ノ書類ヲ更ニ他ノ公証人ニ引渡ストキハ其命ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ自己ノ引繼キタルトキノ目錄ニ依テ引渡ヲ爲シ其始末書ヲ作り受繼人ト共ニ署名捺印スルヲ得

受繼人ハ始末書ヲ作りタル日ヨリ一月以内ニ其寫一通ヲ作り管轄始審裁判所ニ差出ス可シ

第六十二條 停職者復任スルトキハ管轄始審裁判所ヨリ兼任者ニ解任ヲ命スヘシ

第六十三條 前任者ノ作りタル原本ニ依テ後任者正本又ハ謄本ヲ渡ス時ハ其受繼人タル旨ヲ附記スヘシ

本任者ノ作りタル原本ニ依テ兼任者正本又ハ謄本ヲ渡ス時ハ兼任者タル旨ヲ附記ス可シ

第四章 手数料及旅費日當

第六十四條 公証人ハ此章ニ定メタル程限ニ從ヒ囑託人ヨリ手数料及旅費日當ヲ受ケルコトヲ得

第六十五條 手数料ハ原本一枚ニ付貳拾五錢正本及謄本ハ一枚ニ付キ拾錢但一行ニ十字二十行ヲ以テ一枚トシ十行以上ハ一枚十行以下ハ半枚ヲ以テ算ス

第六十六條 囑託人ノ求メニ依リ先ツ證書ノ草案ヲ渡シ後原本ヲ作りタルトキハ草案ノ手数料ヲ別ニ請求スルコトヲ得ス但其原本ヲ作ラサルトキハ原本手数料ノ半額ヲ受ケルコトヲ得

第六十七條 公証人其役場ヨリ一里以外ノ地ニ往テ職務ヲ行フトキハ往返トモ旅費トシテ一里毎ニ貳拾錢ヲ受ケルコトヲ得其職務ヲ行フ爲メ或ハ災變ノ爲メニ其場所又ハ途中ニ滞留スルトキハ日當七十錢ヲ受ケルコトヲ得

第六十八條 兼任者本任者ニ代リテ職務ヲ行フトキハ其手数料ハ總テ兼任者之ヲ受ケ可シ

第六十九條 手数料ノ外証券印紙並ニ野紙ノ代價ハ囑託人ヨリ之ヲ受ケルコトヲ得

第七十條 囑託人ノ求アルトキハ手数料等ノ計算書ヲ與フ可シ

第七十一條 手数料等ニ係リ争ノ生ジタルトキハ其金額ニ拘ハラヌ管轄始審裁判所ニ訴フ可シ

第五章 懲罰

第七十二條 公証人此規則ヲ犯シタル時ハ管轄始審裁判所ニ於テ第七十三條ヨリ第

七十六條マテニ定メタル規定ニ依リ處分スヘシ

第七十三條 左ノ違犯ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ過料ニ處ス

第八條ニ違ヒタル時

第十一條ニ違ヒタル時

第十三條ニ違ヒタル時

第二十條ノ第一第二第三第四ノ規定ニ違ヒタル時

第二十一條ノ第二項又ハ第三項ニ違ヒタル時

第三十二條ノ第一項ニ違ヒタル時

第三十四條ノ第一項ニ違ヒ讀聞セシコトヲ記入セス又ハ肩書ヲ爲サ、リシ時

第三十五條ニ違ヒタル時

第四十條ニ違ヒタル時

第四十一條ニ違ヒタル時

第四十二條ニ違ヒタル時

第四十四條ノ第二項ニ違ヒタル時

第四十六條ニ違ヒタル時

第五十二條ニ違ヒタル時

第五十三條ニ違ヒタル時

第五十四條ニ違ヒタル時

第五十五條ニ違ヒタル時

第五十九條ノ第四項ニ違ヒタル時

第六十一條ニ違ヒタル時

第六十三條ニ違ヒタル時

第七十四條 左ノ違犯ハ二圓以上五圓以下ノ過料ニ處ス

第四十三條ニ違ヒタル時

第四十四條ノ第一項ニ違ヒタル時

第四十五條ノ第二項ニ違ヒタル時

第四十八條ノ第二項ニ違ヒタル時

第四十九條ノ第一項又ハ第三項ニ違ヒタル時

第七十五條 左ノ違犯ハ五圓以上三十圓以下ノ過料ニ處ス

第二條ニ違ヒタル時

第七條ニ違ヒタル時

第十條ノ第二項ニ違ヒタル時

第二十八條ニ違ヒタル時

第三十條ノ第五項ノ規定ニ違ヒタル時

第三十三條ニ違ヒタル時

第三十四條ノ第二項又ハ第三項ニ違ヒタル時

第三十六條ニ違ヒタル時

第三十七條ニ違ヒタル時

第三十八條ニ違ヒタル時

第三十九條ニ違ヒタル時

第七十六條 左ノ違犯ハ一月以上四月以下ノ停職ニ處ス

第四條ノ第一項ニ違ヒタル時

第十五條ニ違ヒタル時

第十六條ニ違ヒタル時

第十七條ニ違ヒタル時

第七十七條 公證人前數條ニ掲テタル懲罰處分ニ對シ不服アルトキハ管轄控訴院ニ

抗告スルコトヲ得但抗告ハ其處分ノ執行ヲ停止スルノ効力ナキモノトス

第七十八條 公証人停職ニ當ル所爲三度ニ及ヒタルトキハ司法大臣其職ヲ免ス

第二十條ノ第一第二第三ニ記載シタル處分ヲ受ケ又ハ身許保證金ヲ差入レザルト

キ亦前項ニ同シ

第七十九條 公証人此規則ヲ犯シタルニ依リ他人ニ損害ヲ生セシメタルトキハ之ヲ賠償ス可シ

書式第一號

本人タルコトノ證明書文例

(用紙ハ制限ナシト雖モ
録半紙ヲ用ユル方ヨシ)

證明願

一私儀今般公証人役場へ公正証書ヲ囑託致度候處是迄公証人ニ面識無之
候間本人タル事ヲ證明相成度候也

何府(縣)何國何郡(市)町(村)大字何
何番地(戸)士族(平民)

年號 月 日

某 印

(寄留者ハ其寄留地ヲモ肩書スヘシ)

何郡(市)町(村)長何某殿

右人違ナキ事ヲ證明候也

年號 月 日

何郡(市)町(村)長 何 某 印

書式第二號

後見人ノ證明書文例 (用紙同上)

證明願

一私儀今般右本人ノ爲メ金員貸渡(借入)事件ノ公正証書ヲ公証人ニ囑託
致候間後見人タルノ證明相成度候也

年號 月 日

何縣何國何郡(市)町(村)何番戶
何 某 印
何縣何國何郡(市)町(村)何番戶
被後見人何某親族
何 某 印

何市(町)村)長何某殿

右證明候也

年號 月 日

何市(町)村)長 何 某 印

公証ニ關スル件

書式第三號

委任狀ノ文例 (其一) (明治六年第二百十五號) (用紙同上)

委任狀

(五厘ノ証券印紙ヲ貼用シ委任者ノ實印ヲ以テ消印スルヲ要ス)

- 一 拙者儀公正証書囑託事件ニ付何國何郡何村何番戶何之誰ヲ以部理代人ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事
- 一 何縣何國何郡何市大字何町何番戶何之誰ニ對スル貸金契約ヲ左ノ如ク締結スル事
 - 一 貸金高何百何圓ノ事
 - 一 利子年何割ノ事
 - 一 抵當ハ何某所有ノ何國何郡何村大字何々番宅地及同番地ニ建設ノ戶籍何番戶建物幾棟ノ事
 - 一 返金期限ハ明治何年何月何日ノ事
 - 一 前數項ノ契約ヲ締結シ公正証書ヲ作ル事ヲ公証人ニ囑託シ及其証書ニ署名捺印スル事
 - 一 右之外本件ニ必用ナル一切ノ事ヲ處辨スル事
- 右代理ノ委任狀仍テ如件

年號 月 日

何縣國郡市町(村)何番戶 何 某 印

書式第四號

委任狀ノ文例 (其二) (用紙同上)

委任狀 (印紙貼用)

- 一 拙者儀公正証書囑託事件ニ付何縣何郡(市)町村大字何々番戶何ノ誰ヲ以部理代人ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事
- 一 何縣何國何郡何村何番戶何某ヨリ拙者ニ借用金ノ契約ヲ左ノ如ク締結スル事
 - 一 借用ノ金高ハ何千圓ノ事
 - 一 利子ハ年何割ノ事
 - 一 抵當ハ拙者所有ノ何國何郡何村何番宅地及ヒ同番地ニ建設ノ戶籍何番戶建物幾棟並土藏何ヶ所ノ事
 - 一 返濟期限ハ來ル明治何年何月何日限ノ事
 - 一 前數項ノ契約ヲ締結シ公正証書ヲ作ルヲ公証人ニ囑託シ及其証書ニ署名捺印スル事
 - 一 右之外本件ニ必要ナル一切ノ事ヲ處辨スル事
- 右代理ノ委任狀仍テ如件

年號 月 日

何縣國郡(市)町(村)何番戶 何 某 印

公証ニ關スル件

第何號

何々証書正本

何(府縣)何國何(郡市)何(町村)何番地住所

士族何職

甲 某

何年何月

何(府縣)何國何(郡市)何(町村)何番地住所

平民何職

乙 某

何年何月

同(府縣)同國何(郡市)同(町村)何番地住所

士族何職

乙某証明人 丙 某

何年何月

何(府縣)何國何(郡市)何(町村)何番地住所

平民何職

乙某証明人 丁 某

何年何月

何(府縣)何國何(郡市)何(町村)何番地住所

士族何職

立會人 戊 某

何年何月

何府何郡何町何村長何某ノ証明書ヲ以テ本人タルコトヲ証シタル右某甲及

ヒ丙某丁某ニ於テ本人タルコトヲ証明シタル乙某ハ明治何年何月何日

公証人誰某役場ニ於テ戊某ノ立會ヲ以テ左ノ契約ヲ締結ス

第壹 云々

第貳 云々

右關係人へ讀聞カセタル處一同相違ナキコトヲ認メ丙某ヲ除クノ外左

ニ其氏名ヲ自書シ且一同捺印ス

甲 某 印

乙 某 印

丙 某 印

本人文字ヲ知ラサ
ニ付其氏名ヲ代書ス

己 某 印

丁 某 印

戊 某 印

右契約ヲ爲シタルコトヲ確証スル爲メ左ニ署名捺印スルモノナリ

明治何年何月何日某地ニ於テ又ハ某公証人役場ニ於テ

公証人 誰 某 印

此正本ハ乙某(義務者)ノ立會ヲ以テ甲某(權利者)ノ爲メ之ヲ作リタル

モノナレハ裁判所ニ出願シ其執行ノ命令書ヲ得テ執行スル効力アルコ

トヲ確証ス依テ右乙某ト共ニ左ニ署名捺印スルモノナリ

明治何年何月何日公証人誰某役場ニ於テ

某治安裁判所管内何國何(郡市)何(町村)

何番地住居

公証人 誰

某□

乙

某□

○原本、正式謄本、謄本ノ書式ハ大同小異ニ付之ヲ畧ス

明治二十二年十月二十日印刷
同年同月廿二日出版

(定價金五拾錢)

發行兼印刷者

大坂府平民

梶原猪之松

岐阜縣岐阜市大字上加
納高巖町寄留

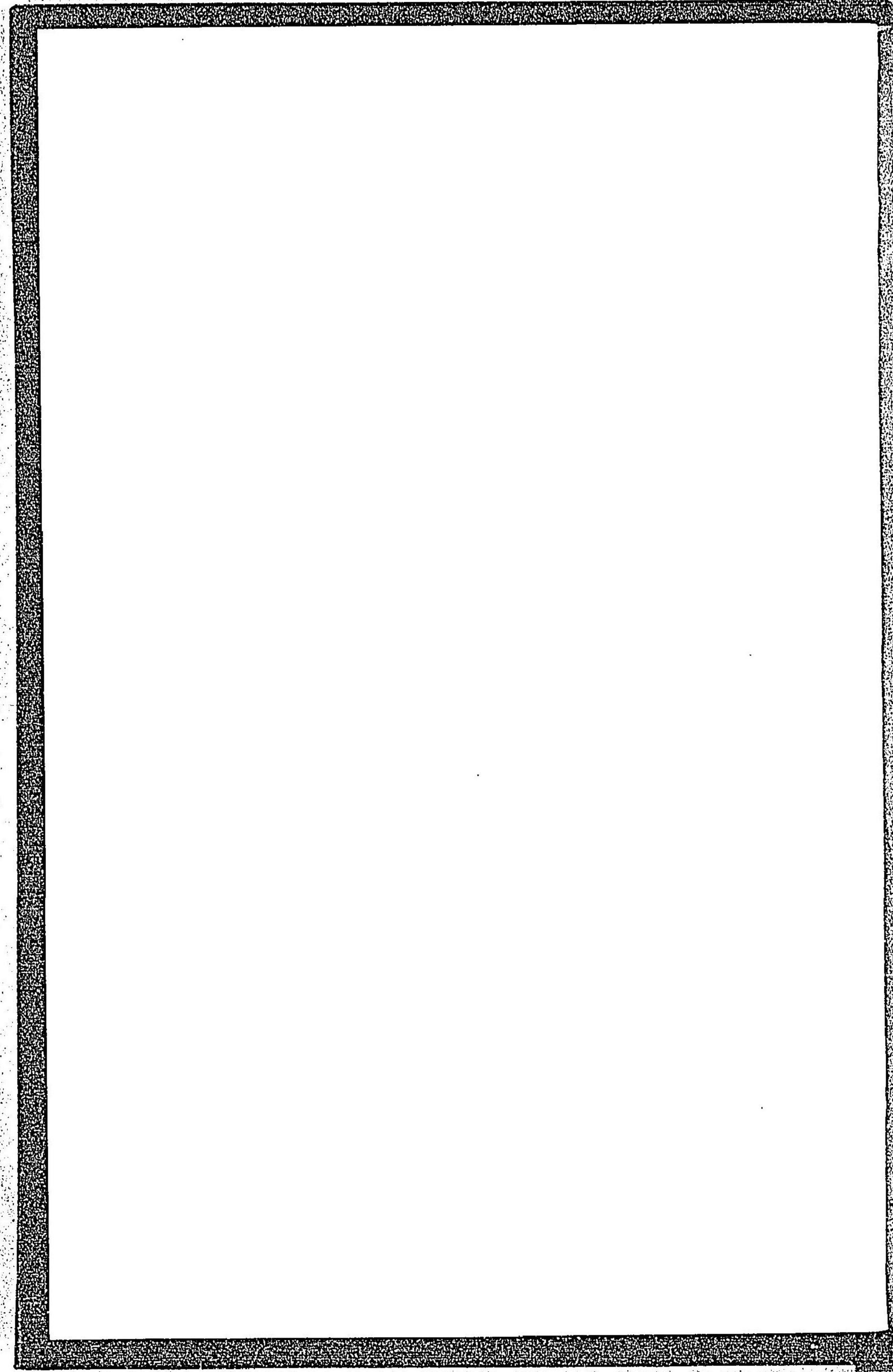
發賣所

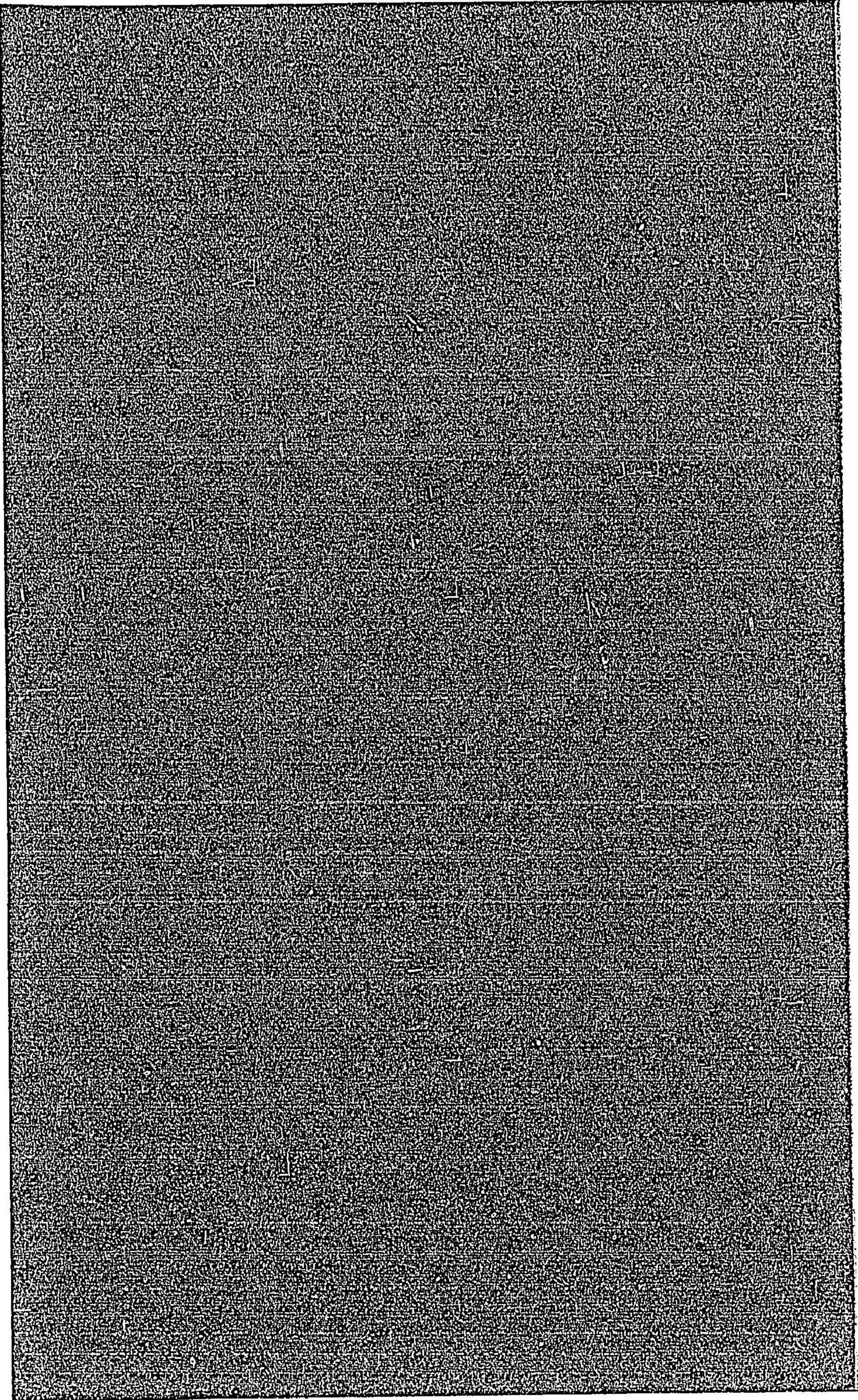
岐阜市泉町

啓文社

同 郁文堂

47D-76





禁電子式複写

031234-000-3

CZ-1113-57-09

岐阜県人民必携

梶原 猪之松 / 編

M22

BBD-0241



